

令和7年度「男女共同参画・共生社会推進に関するアンケート調査」集計結果

1 調査目的

男女共同参画・共生社会推進に関する県民の意見と実態を調査し、今後県が行う男女共同参画・共生社会推進施策を充実させていくための基礎資料とする。

2 アンケート調査の実施期間

令和7年10月

3 調査方法

インターネット

4 調査対象者(県政モニター)

ネットモニター 400 名

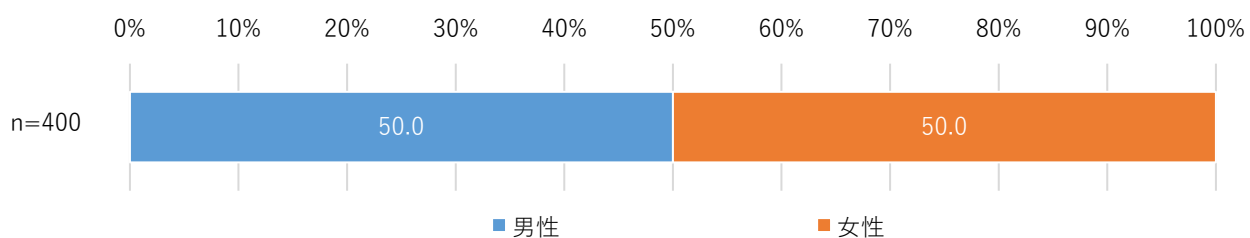
5 回答数(回答率)

400 名(100%)

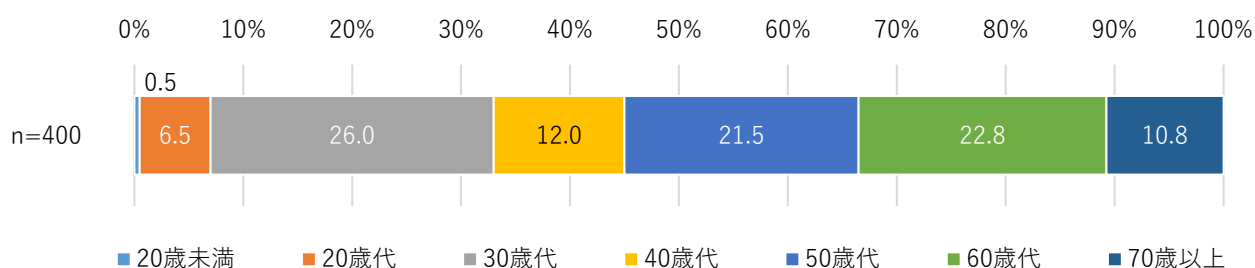
6 その他

- (1) 比率は全て百分率で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しているため、回答の合計が100%にならないことがある。
- (2) 複数回答が可能な設問については、回答の合計は100%を上回ることがある。
- (3) 複数回答が可能な設問については、設問文の末尾にその旨を記載している。

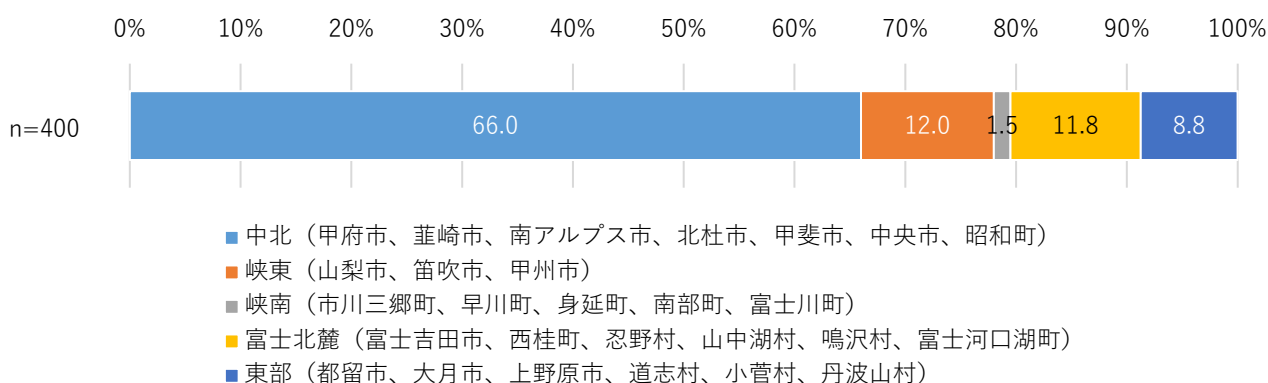
F1 あなたの性別をお答えください。



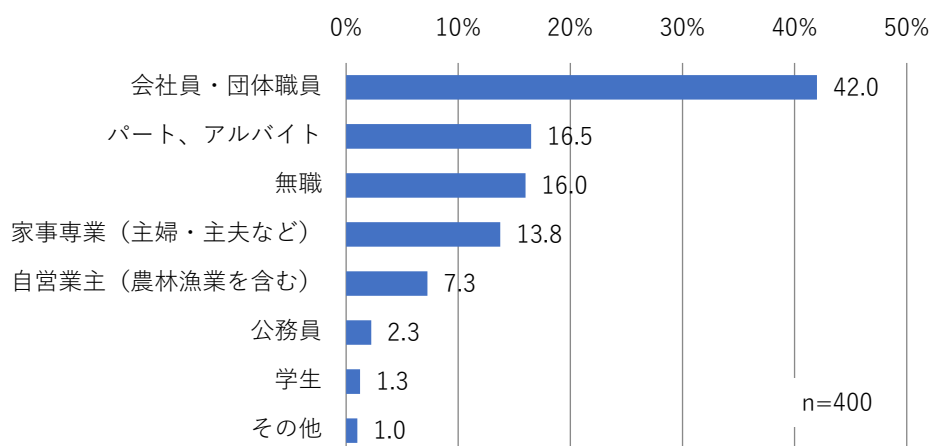
F2 あなたの年齢(令和7年10月1日現在の満年齢)はいくつですか。



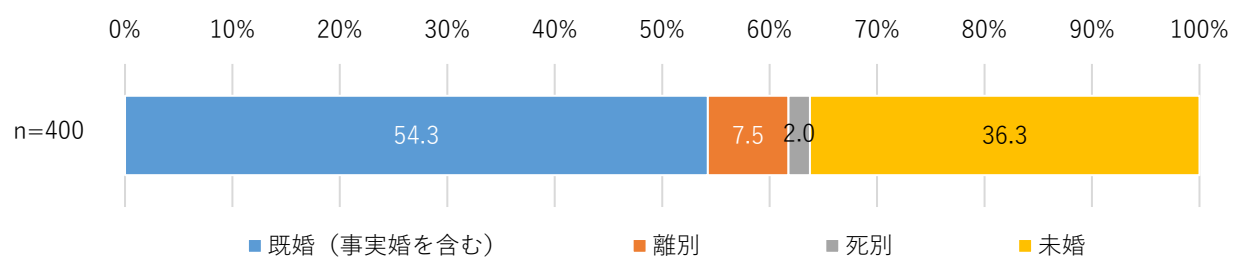
F3 あなたが現在お住まいの地域はどこですか。



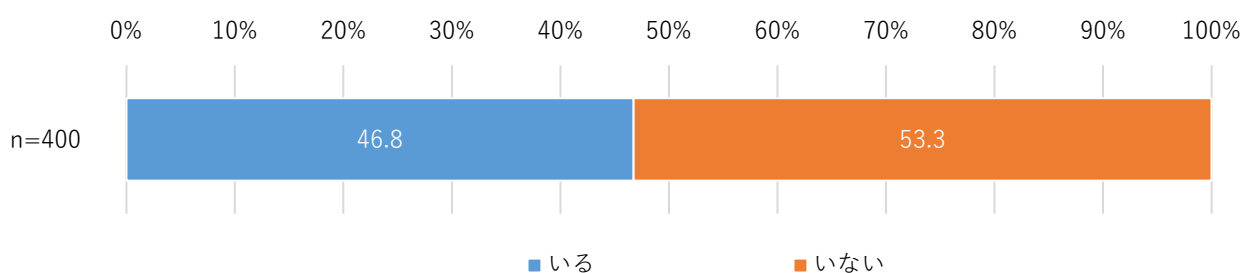
F4 あなたの職業は何ですか。(主なもの1つ)



F5 あなたは結婚していますか。

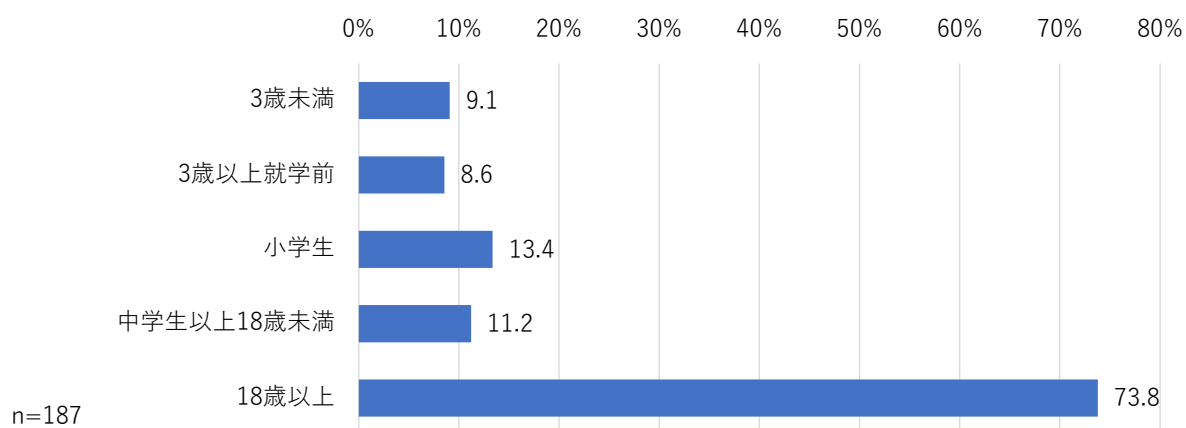


F6 あなたにお子さんはいますか。



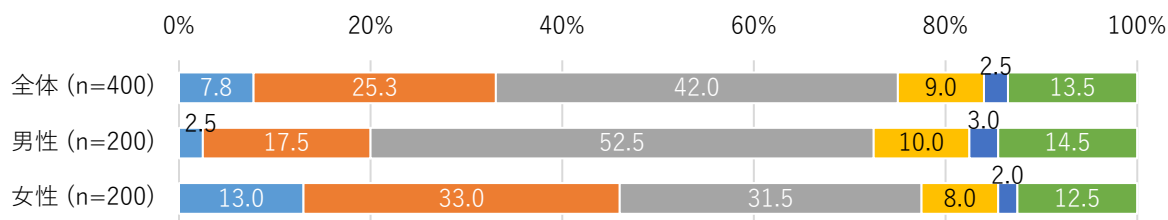
【F6で「いる」と回答した方のみ】

F7 あなたのお子さんの年齢層はどれですか。（複数回答可）

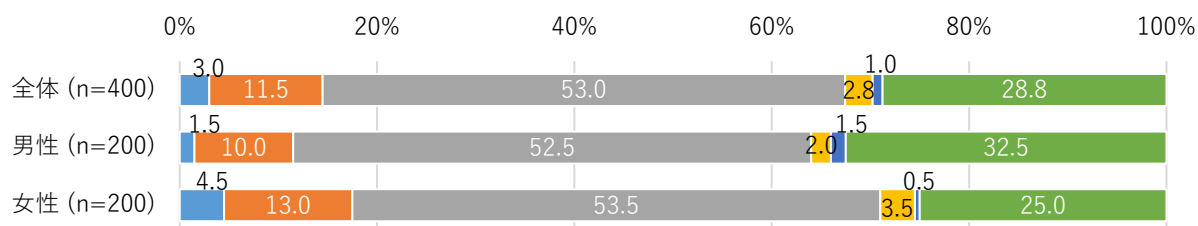


問1 あなたは、次の分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。

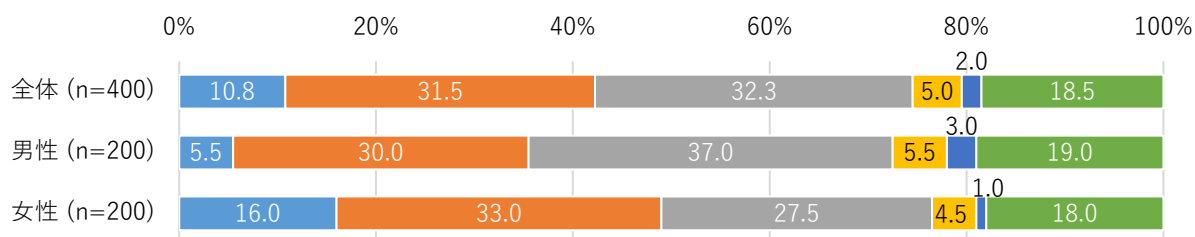
A 家庭生活において



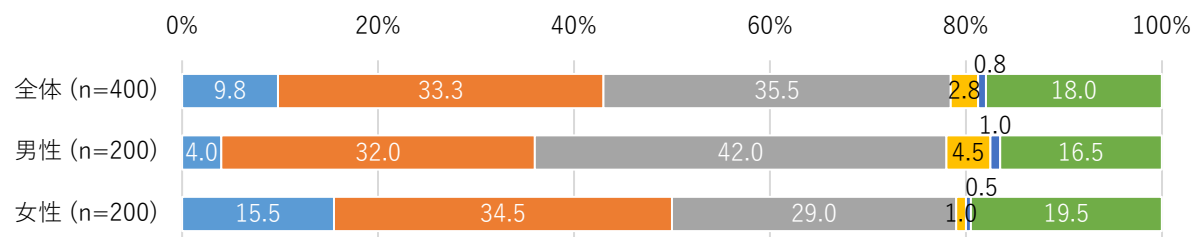
B 学校生活において



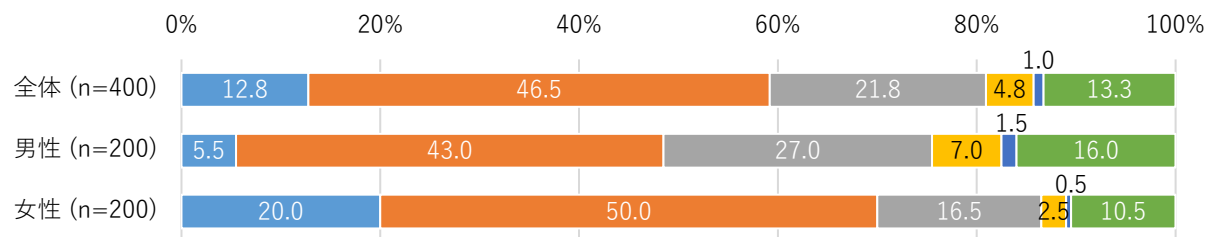
C 職場内において



D 地域において



E 社会全体において

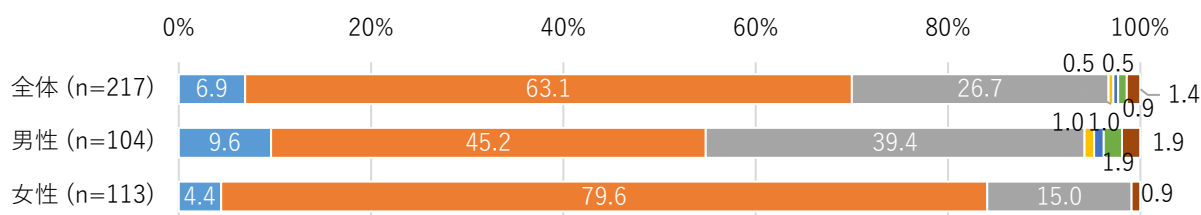


■ 男性優遇 ■ どちらかといと男性優遇 ■ 平等 ■ どちらかといと女性優遇 ■ 女性優遇 ■ わからない

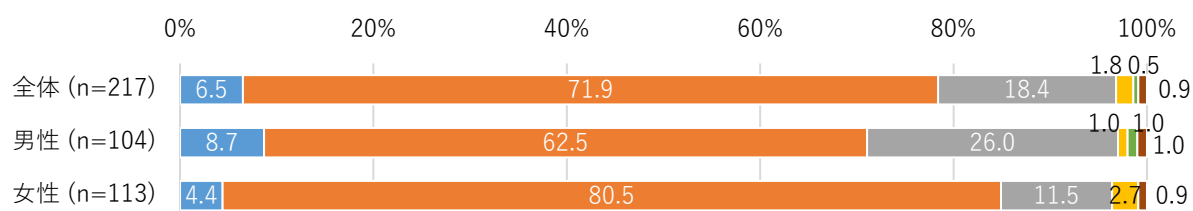
【F5で「既婚(事実婚を含む)」と答えた方のみ】

問2 あなたの家庭では、次のような家事等や最終決定を主にどなたが担当しているでしょうか。

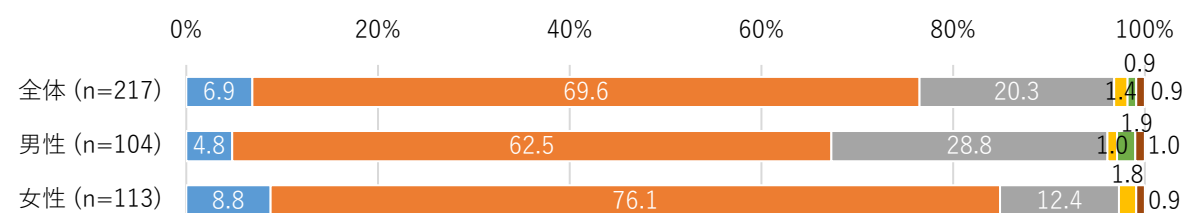
A 掃除



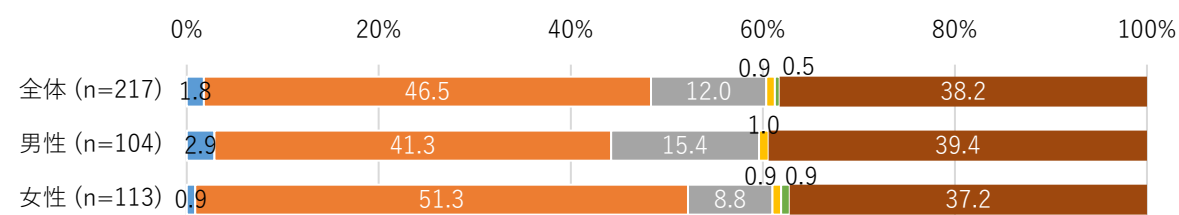
B 洗濯



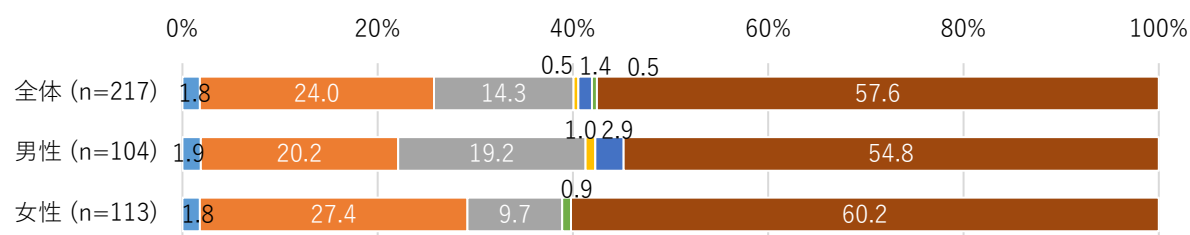
C 食事のしたく



D 育児

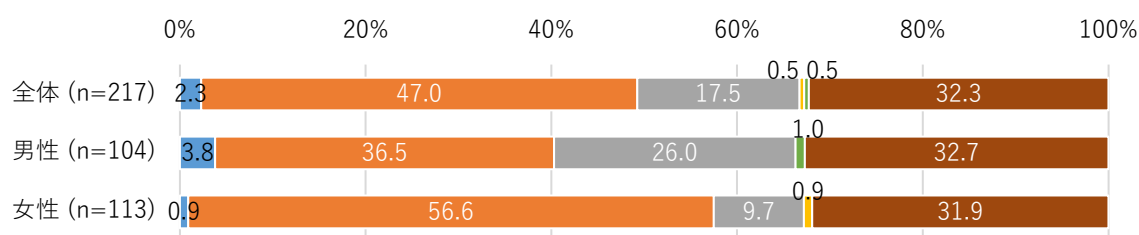


E 高齢者などの介護

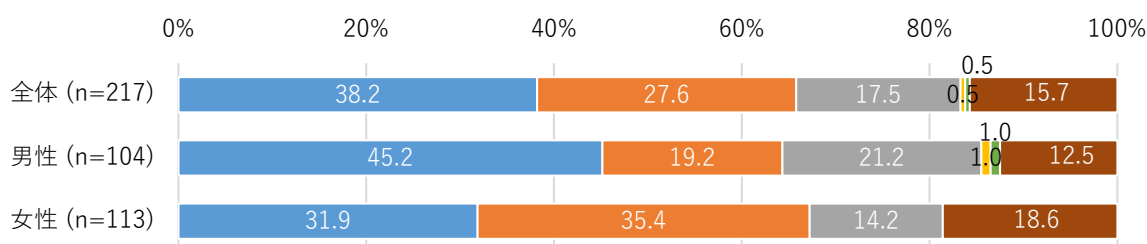


夫 妻 夫と妻が
同じ程度 夫婦以外
の家族 ホームヘルパー
等の外部サービス 家族全員 該当なし

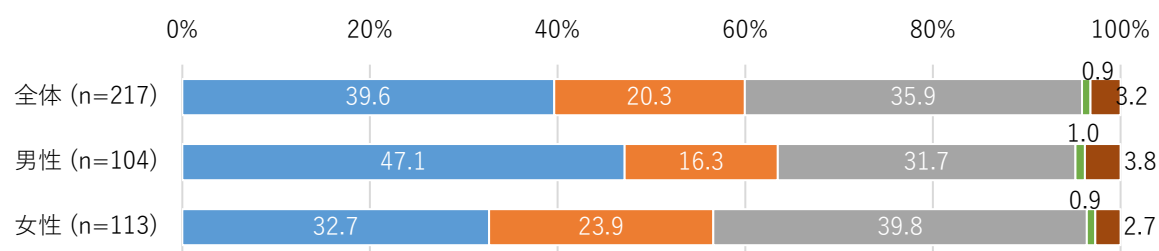
F 授業参観などの学校行事への参加



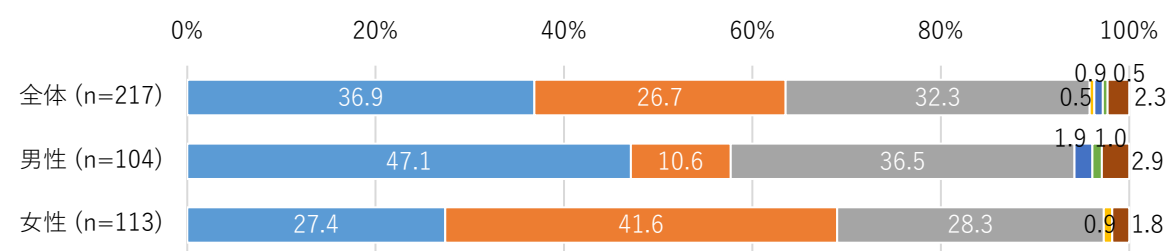
G 地域の行事(自治会等)などの活動



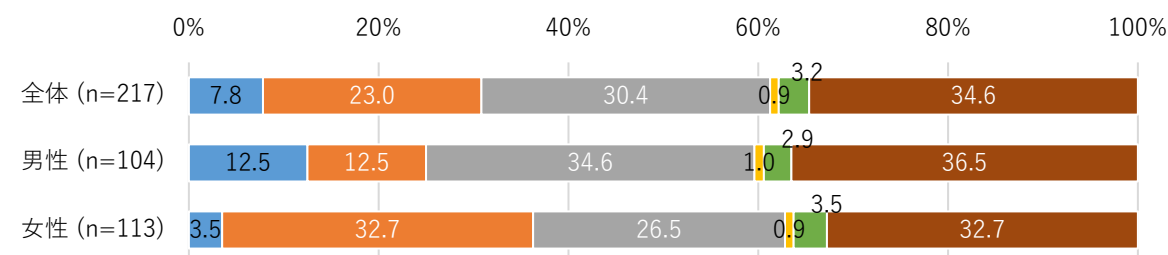
H 高額な商品(テレビ家具等)の購入



I 財産の管理



J 子どもの教育・就職



■ 夫 ■ 妻 ■ 夫と妻が
同じ程度 ■ 夫婦以外
の家族 ■ ホームヘルパー
等の外部サービス ■ 家族全員 ■ 該当なし

問3 あなたとあなたの配偶者が、それぞれ1日のうちで家事、育児、介護に費やす平均時間はどのようなか。

※家事とは・・・炊事、食事のしたく・後片づけ、掃除、洗濯、衣類整理、家計簿の記入、庭の草取り、通勤・通学などの送迎、単身者が行う炊事・洗濯・掃除等、家族の身の回りの世話(但し、小学校入学前の子どもの世話は育児に含まれる。)

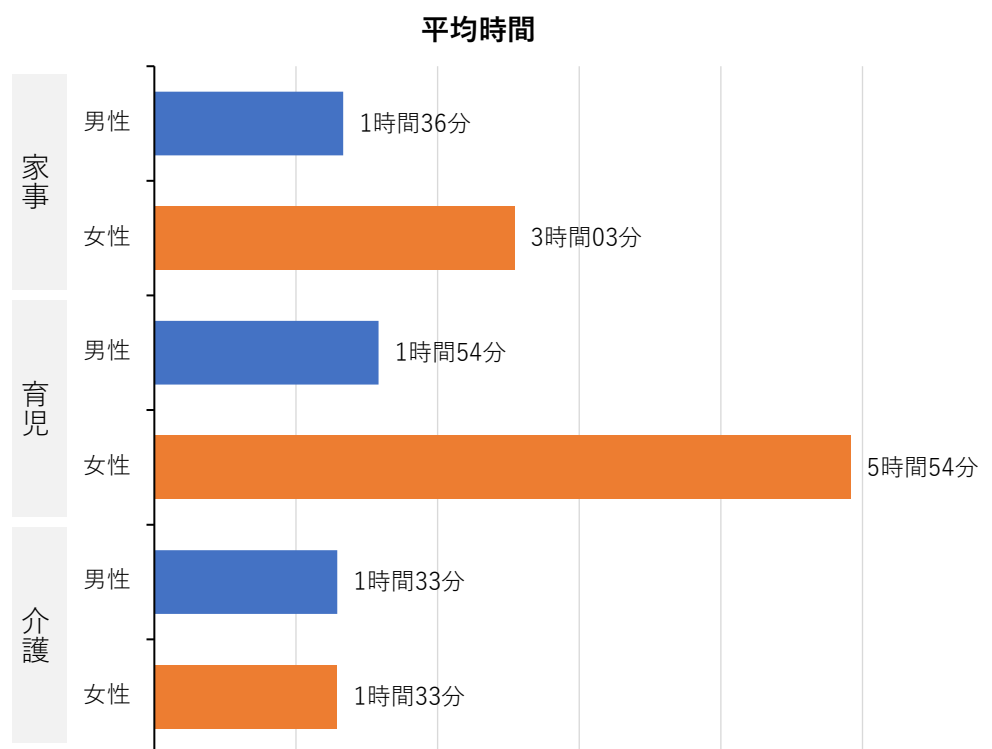
※育児とは・・・乳幼児・小学校入学前の子どもの身の回りの世話、つきそい、勉強相手、遊び相手

※介護とは・・・日常生活における家族・親族の入浴・トイレ・移動・食事などの手助け、看病、一時的な病気などで寝ている家族の介護・看護

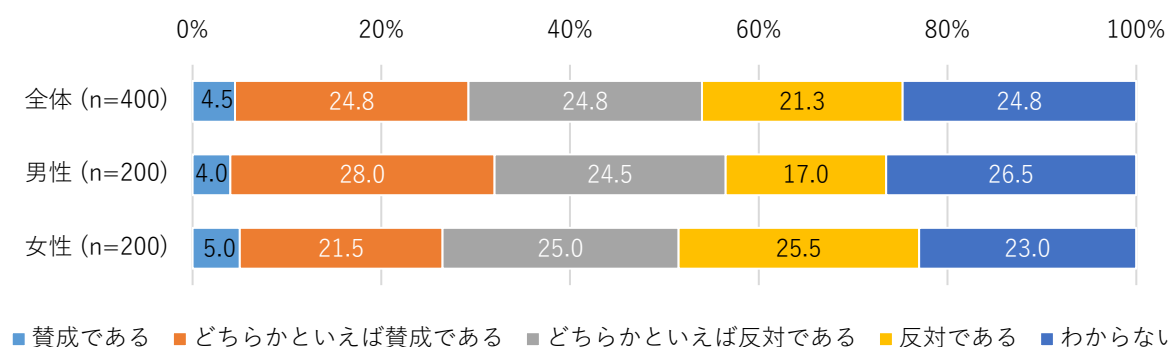
【有効回答数】

※ 回答者本人とその配偶者について回答するため、有効回答数はアンケート回答者数(男性 200 人、女性 200 人)を上回ることがあります。

家事	男性	232 人分	女性	301 人分
育児	男性	46 人分	女性	59 人分
介護	男性	17 人分	女性	18 人分

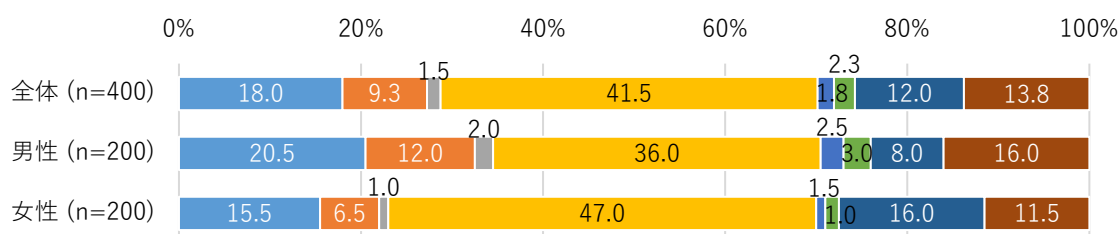


問4 あなたは、「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考えに賛成ですか、反対ですか。

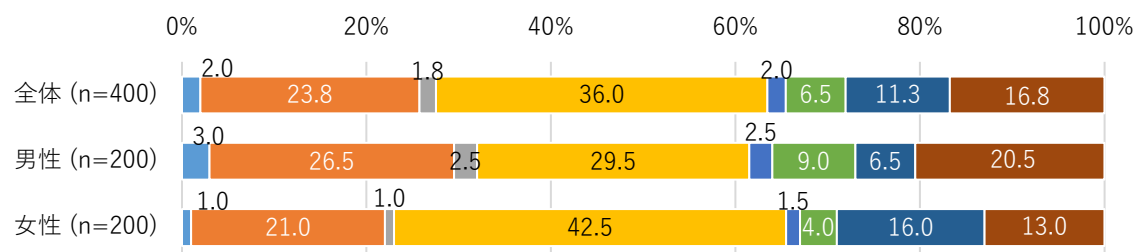


問5 仕事と生活の調和において、男性、女性のそれぞれについて望ましい形と思うものを選んでください。また、あなたの現在の状況に最も近いものを選んでください。

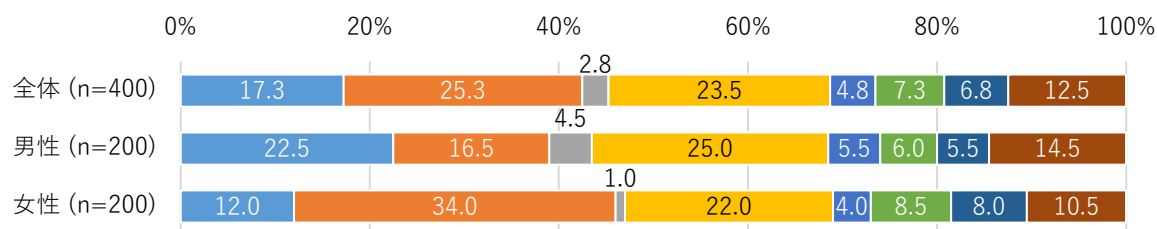
A 男性にとって望ましい形



B 女性にとって望ましい形

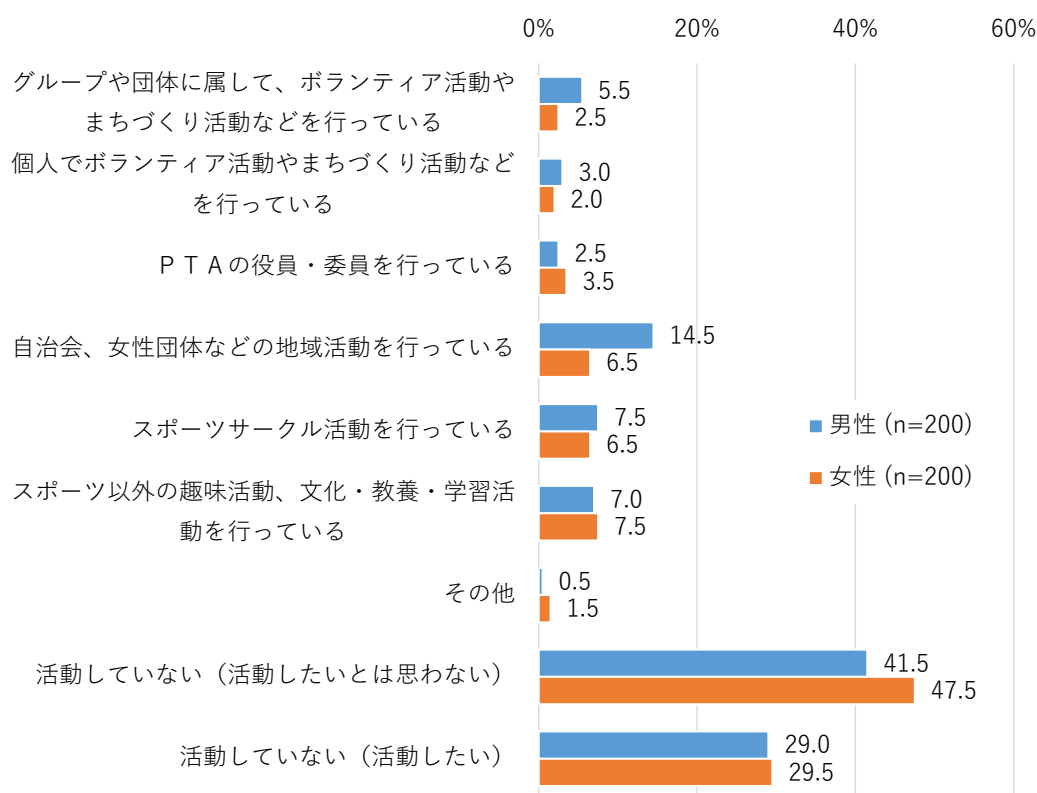


C あなたの現在の状況



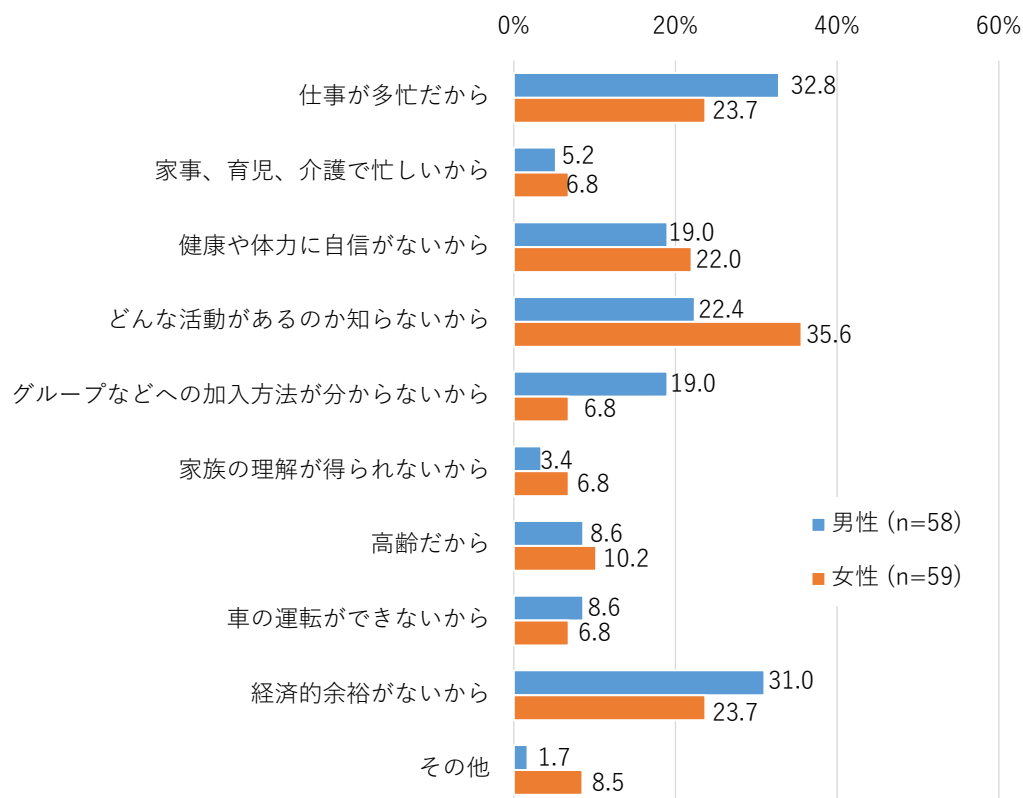
- 「仕事」を優先する
- 「家庭生活」を優先する
- 「地域・個人の生活」を優先する
- 「仕事」と「家庭生活」をともに優先する
- 「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先する
- 「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先する
- 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をいずれも優先する
- わからない

問6 あなたは現在、家庭の外で(仕事以外に)何か活動をしていますか。(複数回答可)

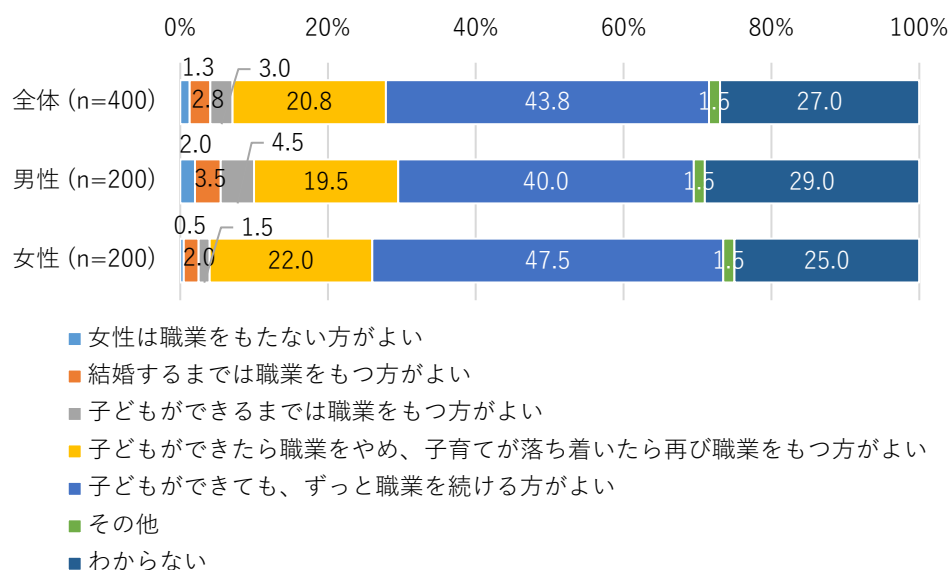


【問6で「活動していない(活動したい)」と答えた方のみ】

問6-1 活動したいのに活動していない理由は何ですか。(3つまで回答可)

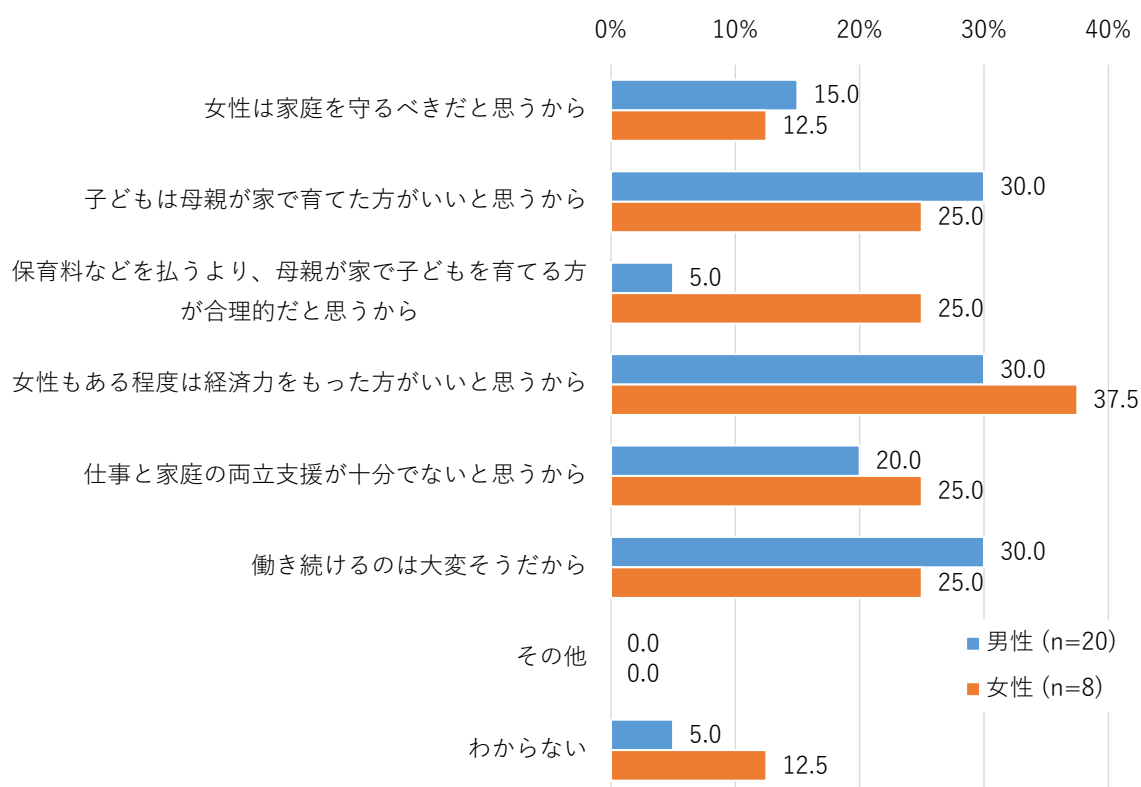


問7 女性が職業をもつことについて、あなたはどのようにお考えですか。



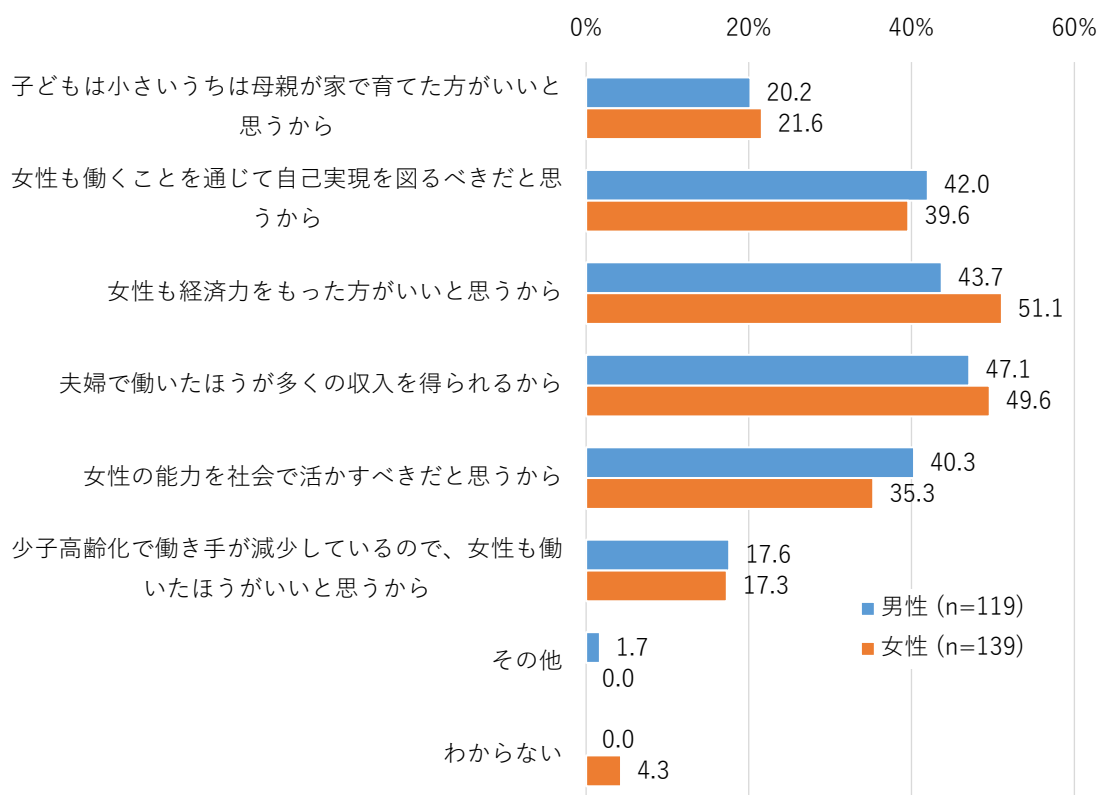
【問7で「女性には職業をもたない方がよい」、「結婚するまでは職業をもつ方がよい」、「子どもができるまでは職業をもつ方がよい」と答えた方のみ】

問7-1 その理由は何ですか。(複数回答可)



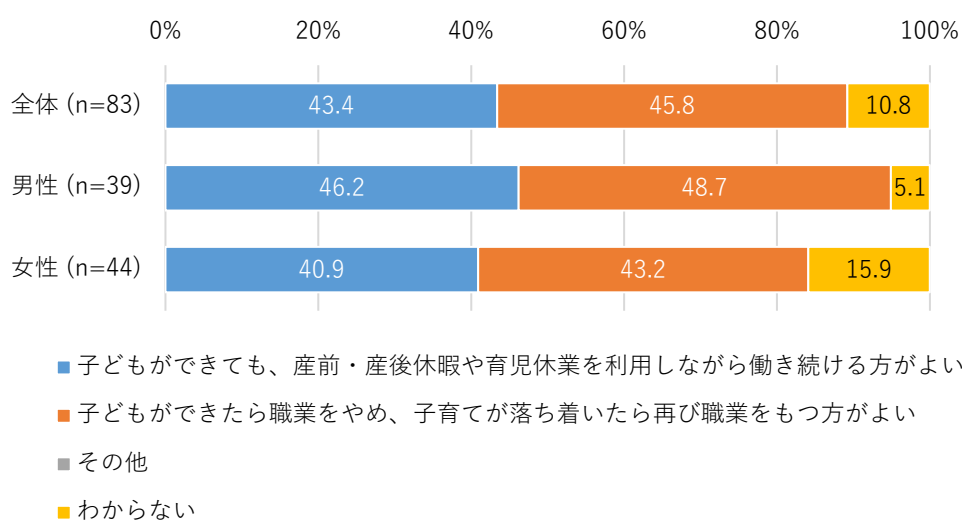
【問7で「子どもができたら職業をやめ、子育てが落ち着いたら再び職業をもつ方がよい」、「子どもができて、ずっと職業を続ける方がよい」と答えた方のみ】

問7-2 その理由は何ですか。(複数回答可)



【問7で「子どもができたら職業をやめ、子育てが落ち着いたら再び職業をもつ方がよい」と答えた方のみ】

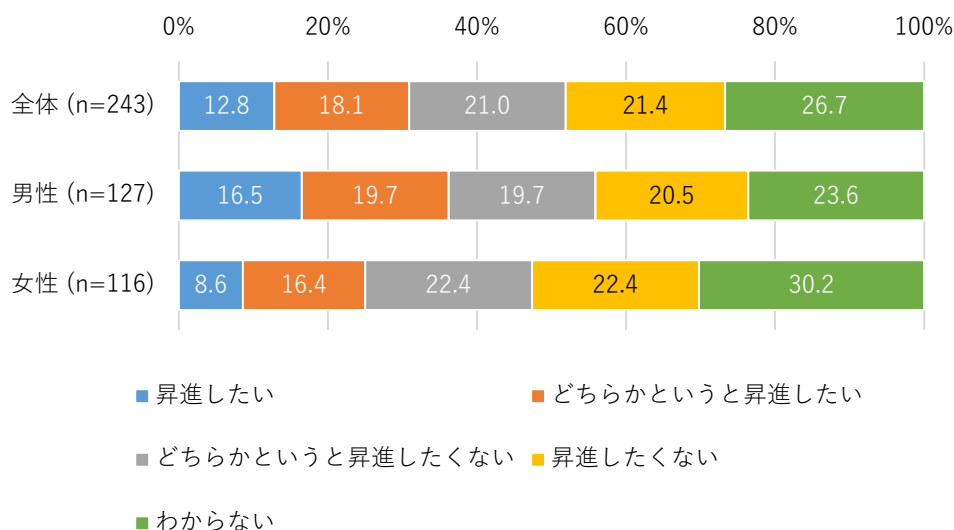
問7-3 もし現在よりも、仕事と子育ての両立がしやすい環境にあるとしたら、どのように考えますか。



【F4で「会社員・団体職員」、「パート、アルバイト」、「公務員」と答えた方のみ】

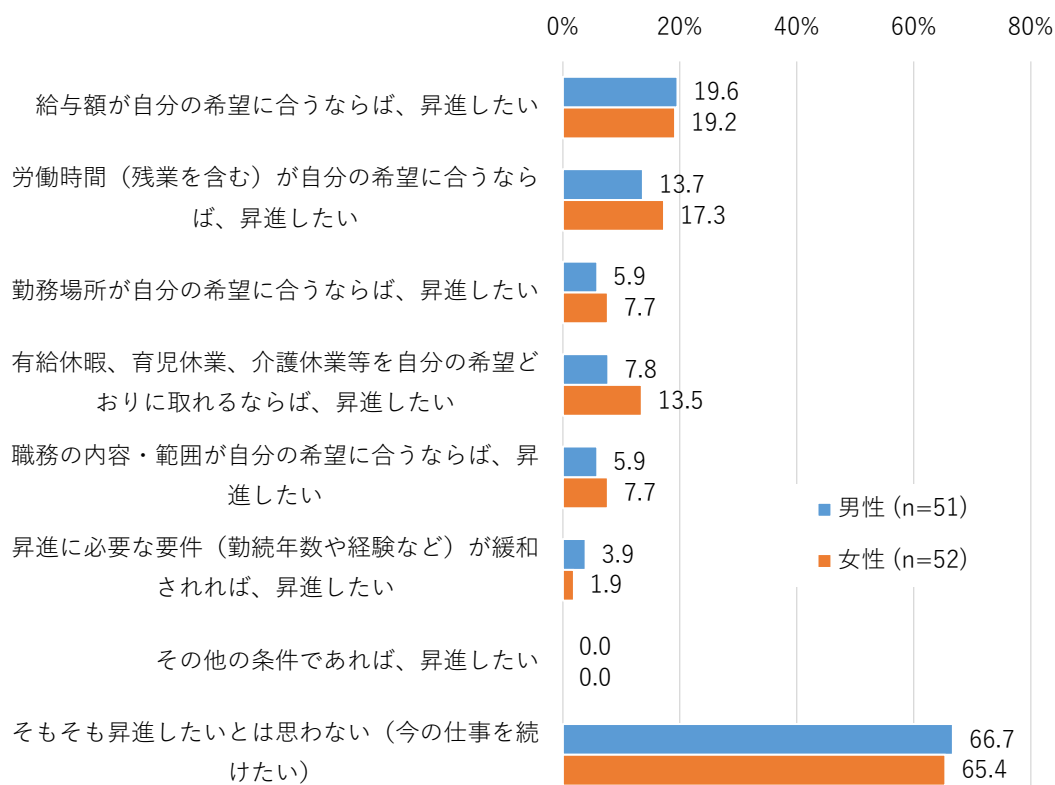
問8 あなたは、現在の職場で昇進の機会があれば昇進したいと思いますか。

※昇進とは…現在より権限や責任が大きい仕事に就くことをいい、非正社員の方が正社員に登用されることを含みます。

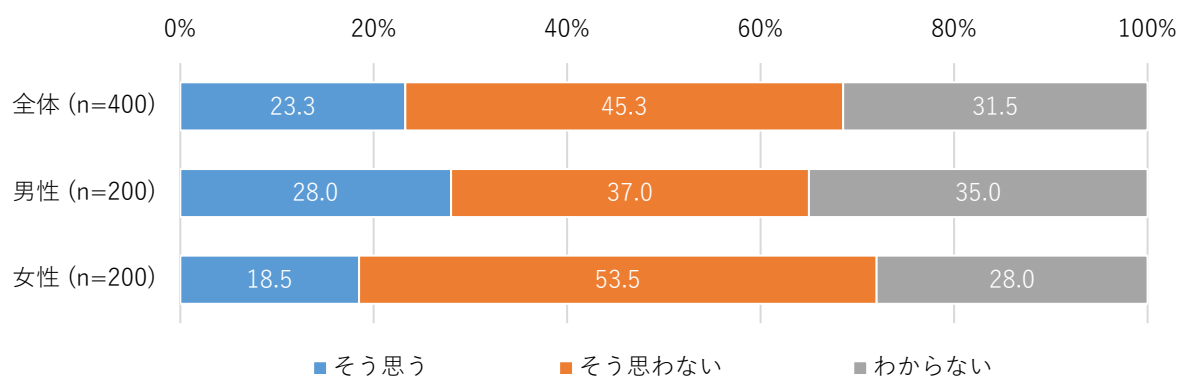


【問8で、「どちらかというと思進したくない」、「昇進したくない」と答えた方のみ】

問8-1 次の場合、あなたは現在の職場で昇進したいと思いますか。(3つまで回答可)

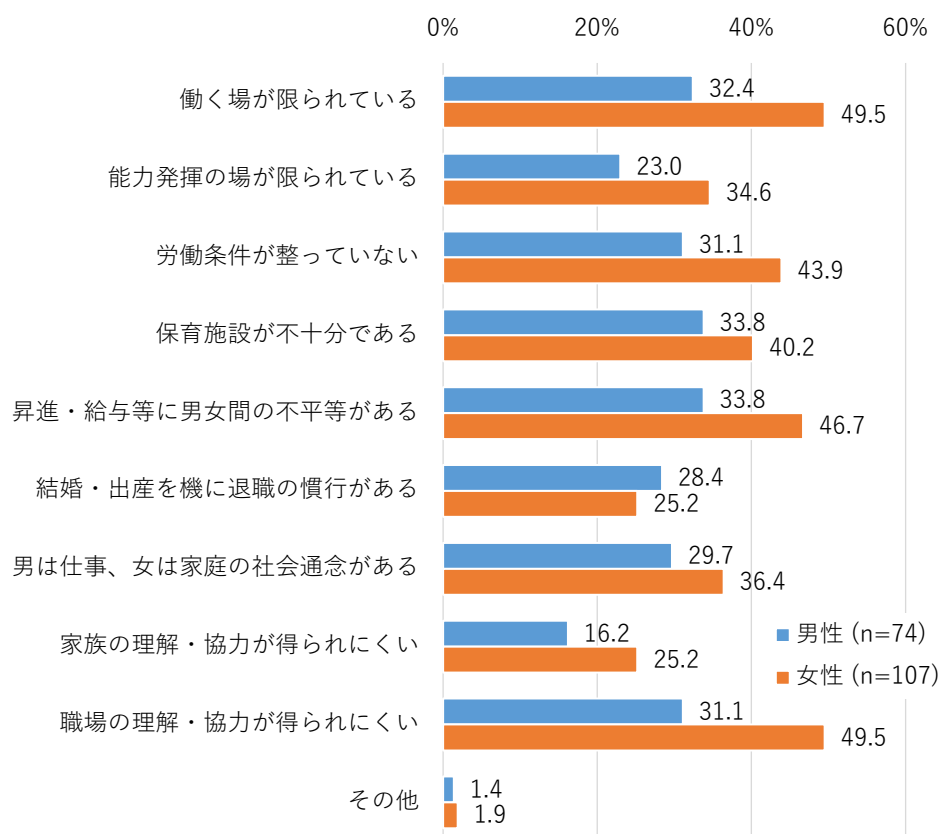


問9 あなたは現在の社会は女性が働きやすい状況にあると思いますか。

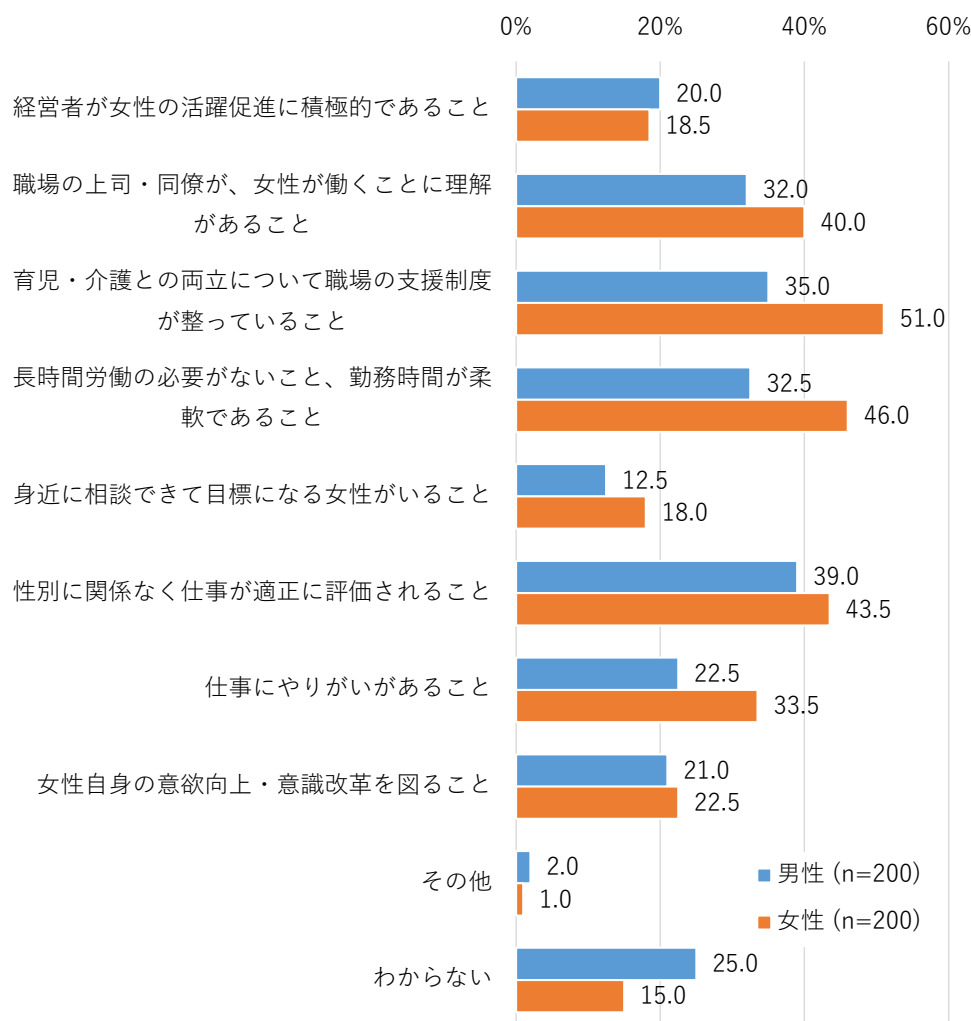


【問9で、「そう思わない」と答えた方のみ】

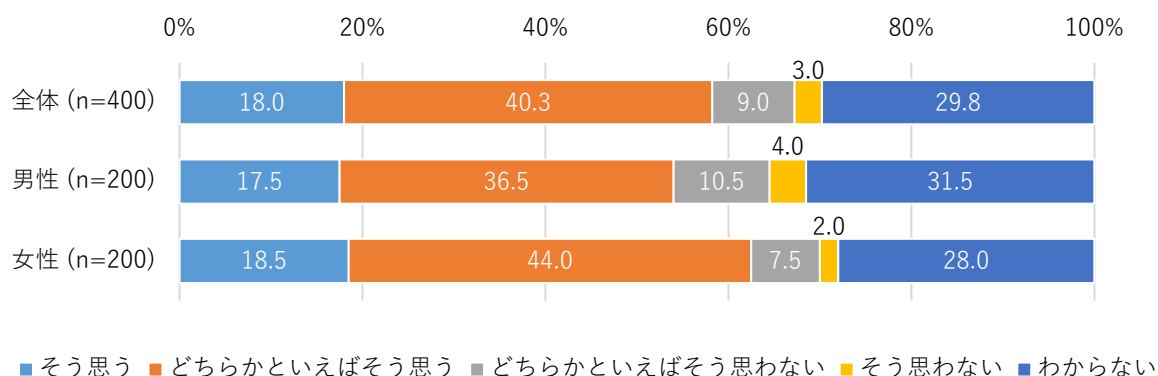
問9-1 その理由は何ですか。(複数回答可)



問10 働く場において女性がさらに活躍するために何が必要だと思いますか。(複数回答可)

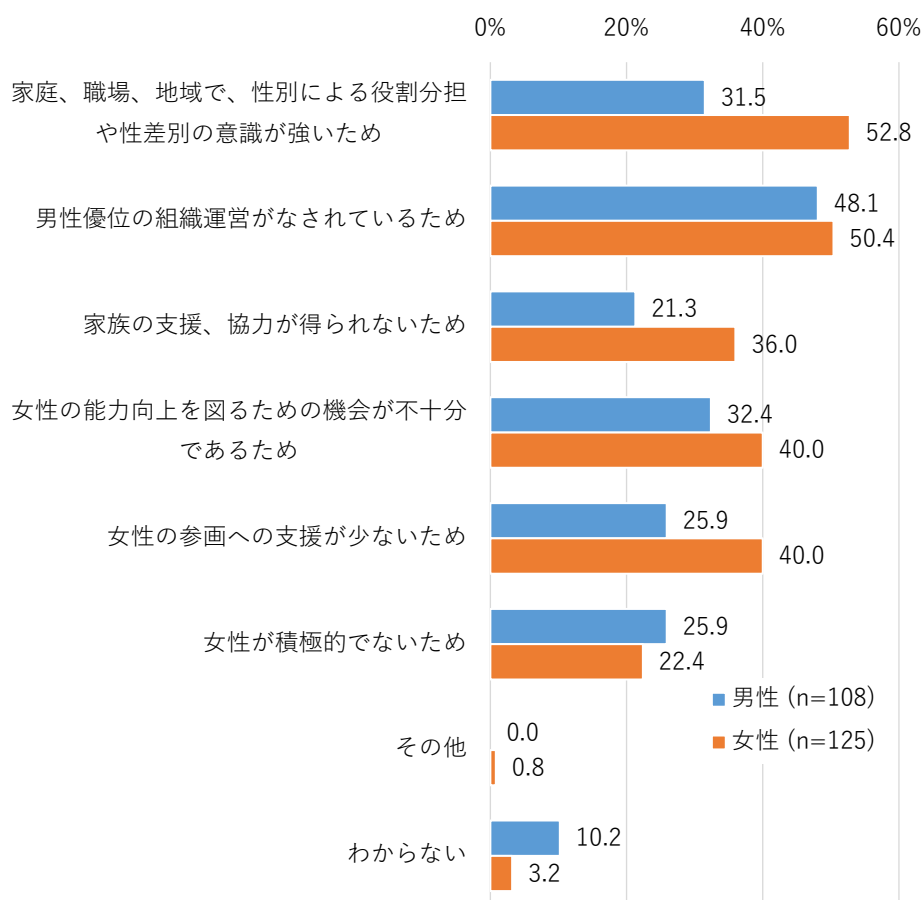


問11 あなたは、女性の意見がもっと反映されるように、自治体の首長(知事や市町村長)や議会議員、企業の経営者、自治会やPTAの会長など、事業の企画立案や方針決定を行う立場の女性がもっと増えるほうがいいと思いますか。



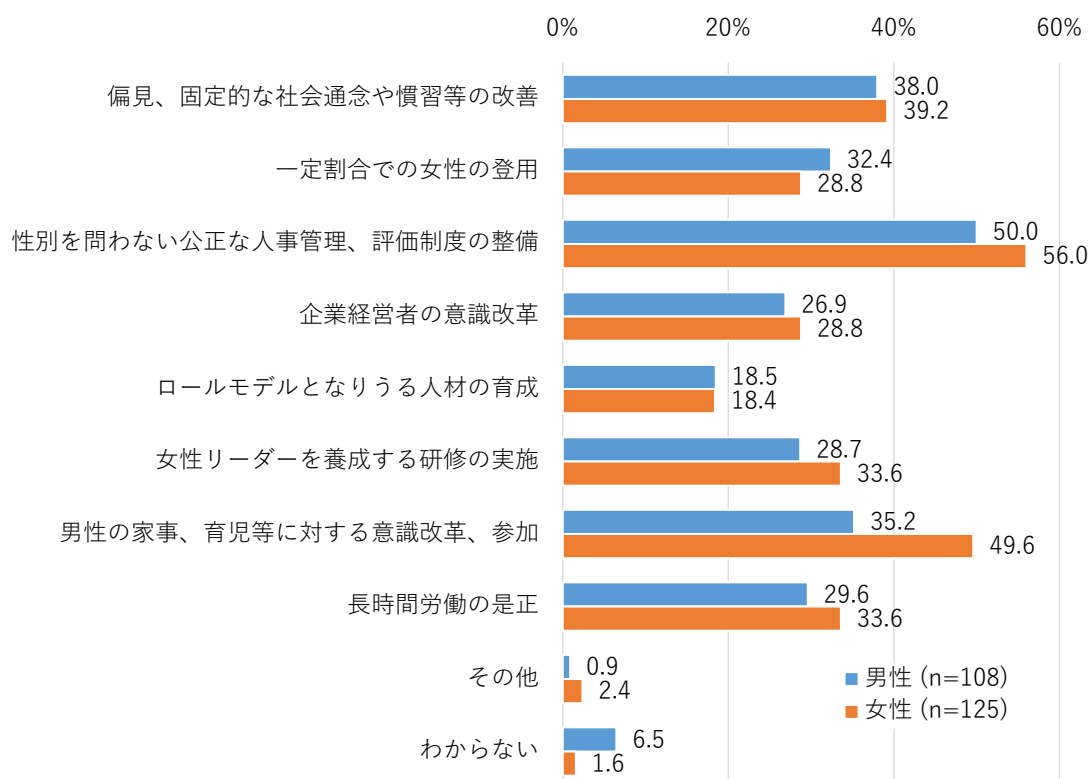
【問11で、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と答えた方のみ】

問11-1 政治や行政、職場などにおいて、企画立案や方針決定の場に女性の参画がまだまだ少ないといわれていますが、あなたはその原因は何だと思えますか。（複数回答可）

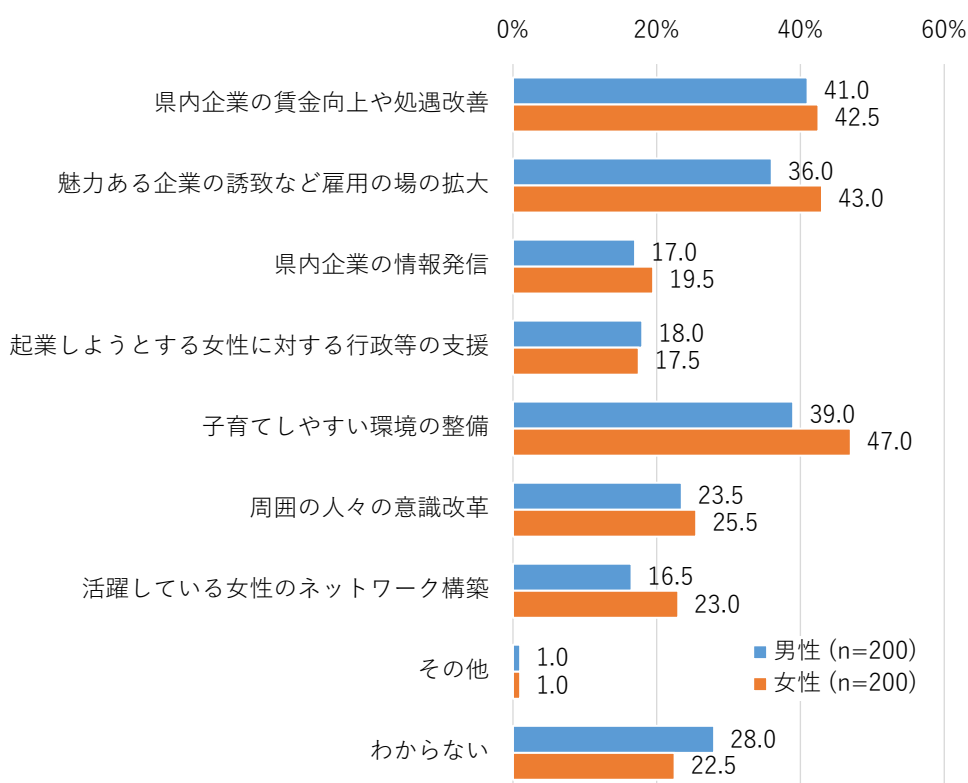


【問11で、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と答えた方のみ】

問11-2 政治や行政、職場などにおいて、企画立案や方針決定の場にもっと女性が参画するために何が
必要だと思いますか。(複数回答可)

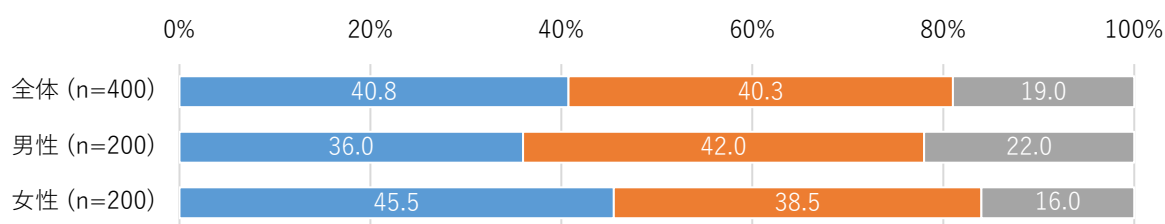


問12 県内の若年女性は多くが都市部に流出しています。県内に女性が定着し、活躍するために必要なことは何だと思いますか。(複数回答可)

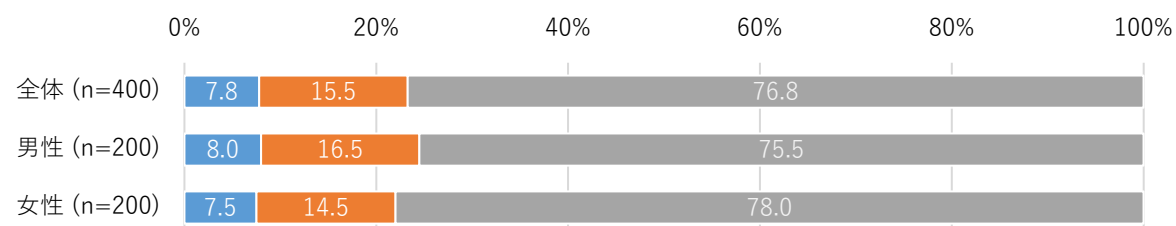


問13 これらの言葉やその意味を知っていますか。

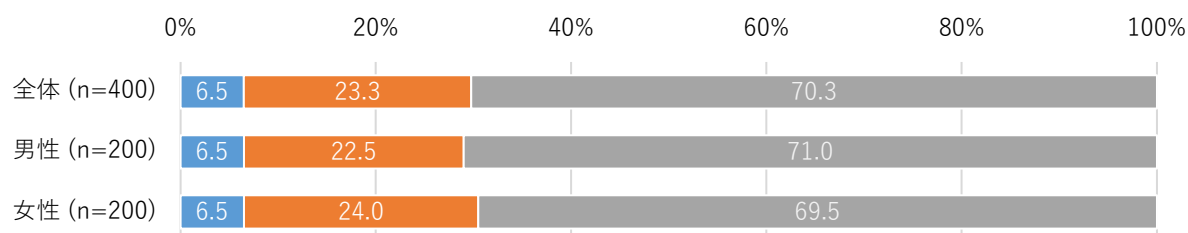
A ジェンダー(社会的・文化的に形成された性別)



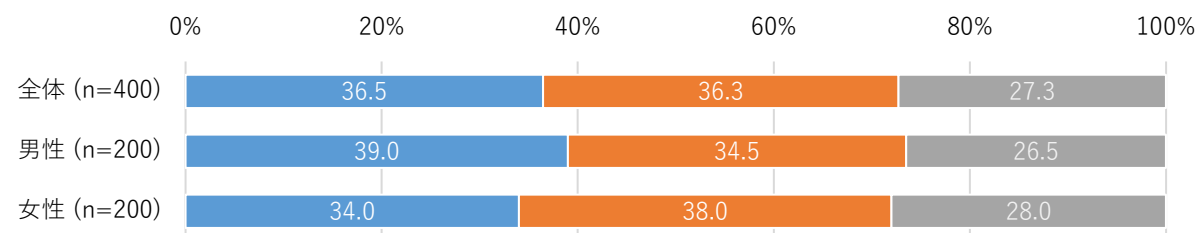
B アンコンシャス・バイアス(無意識の偏見)



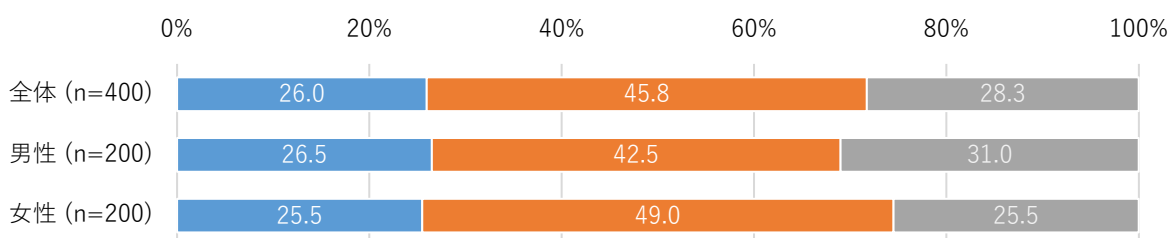
C ポジティブ・アクション(積極的改善措置)



D ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)

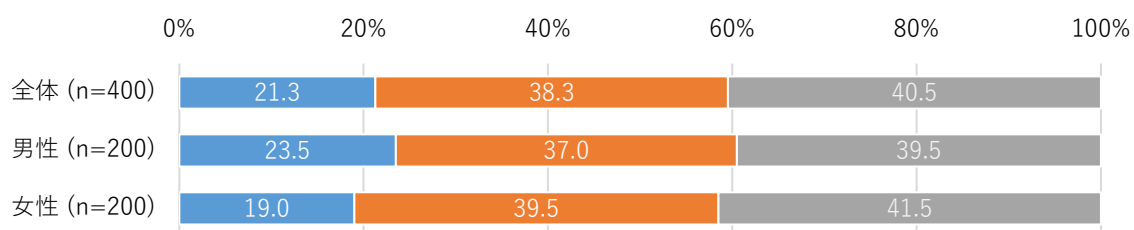


E 男女共同参画社会

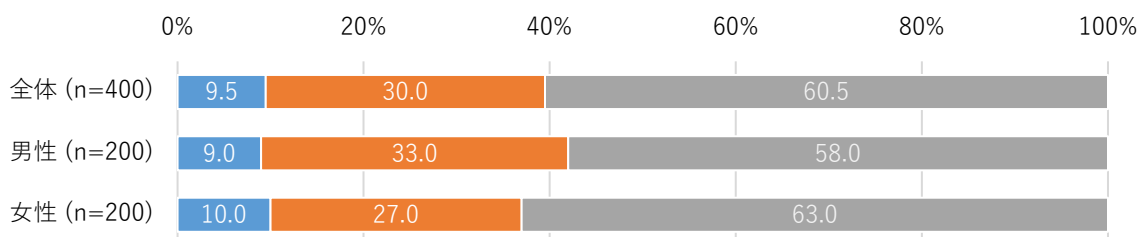


■ 知っている ■ 見た・聞いたことがある ■ 知らない

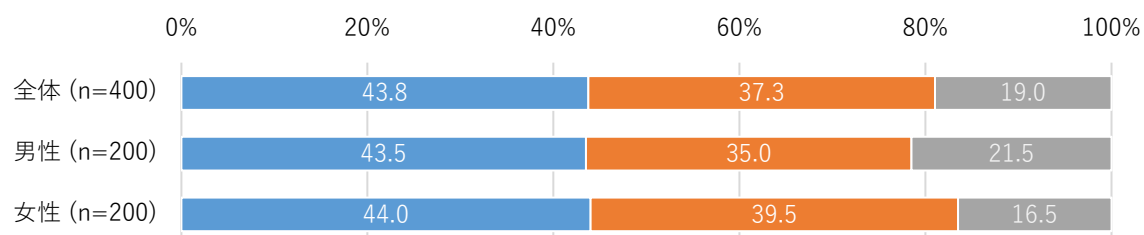
F 男女共同参画社会基本法



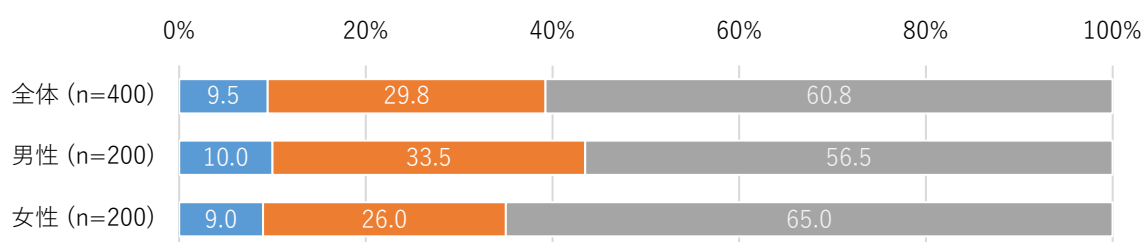
G 女子差別撤廃条約



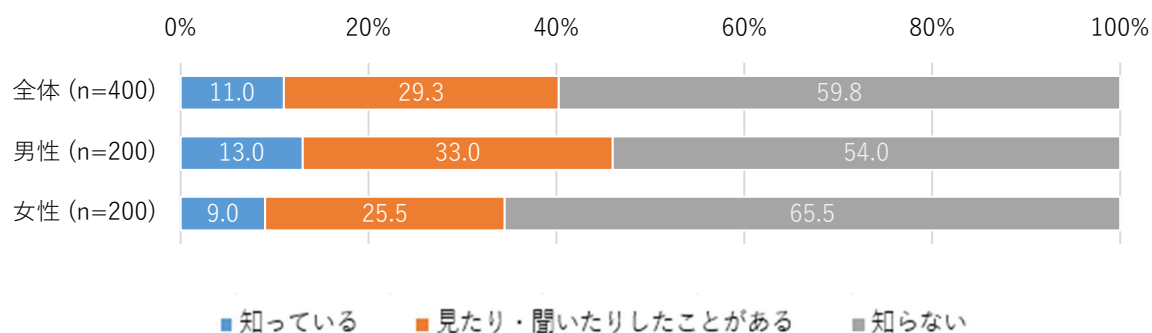
H 男女雇用機会均等法



I 女性の職業生活における活躍の推進に関する法律(女性活躍推進法)

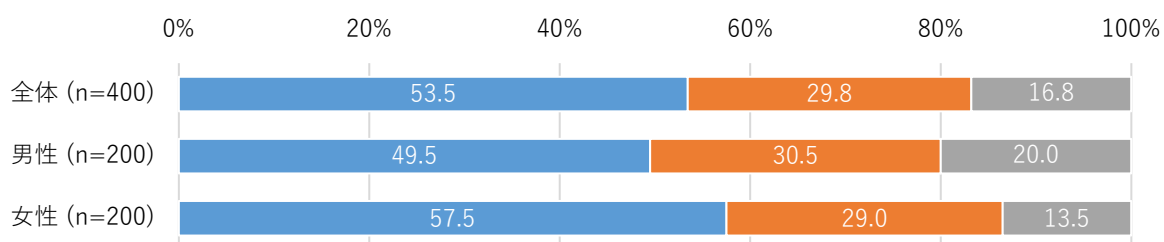


J 政治分野における男女共同参画の推進に関する法律(候補者男女均等法)

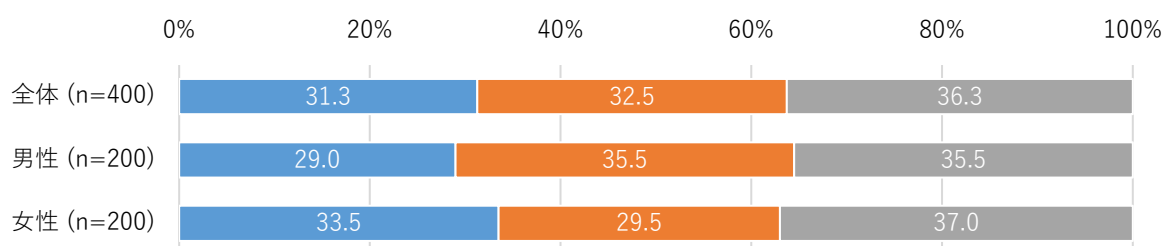


■ 知っている ■ 見た・聞いたことがある ■ 知らない

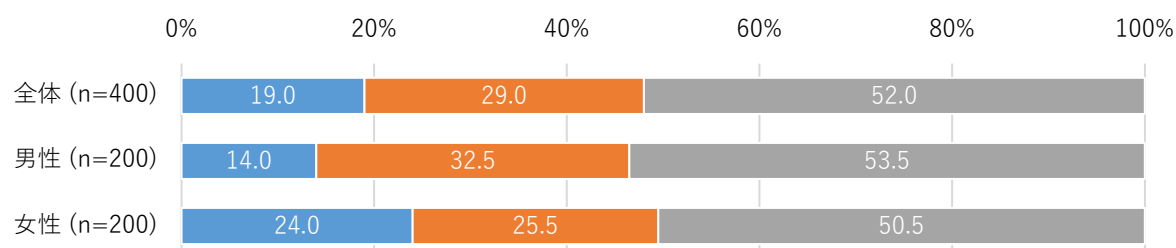
K DV(配偶者等からの暴力)



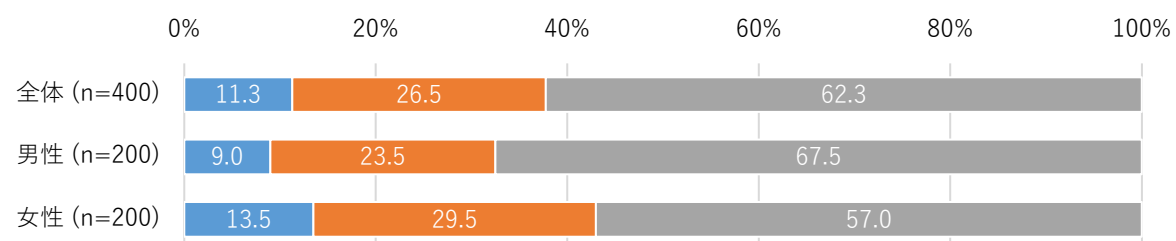
L デートDV(恋人間の暴力)



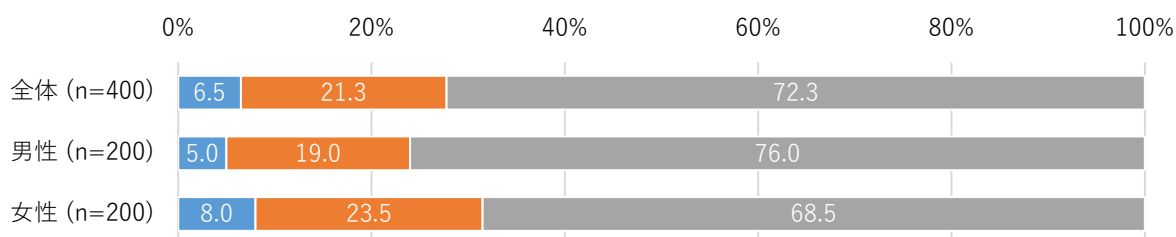
M 山梨県立男女共同参画推進センター(ぴゅあ総合・ぴゅあ峡南・ぴゅあ富士)



N 配偶者暴力相談支援センター



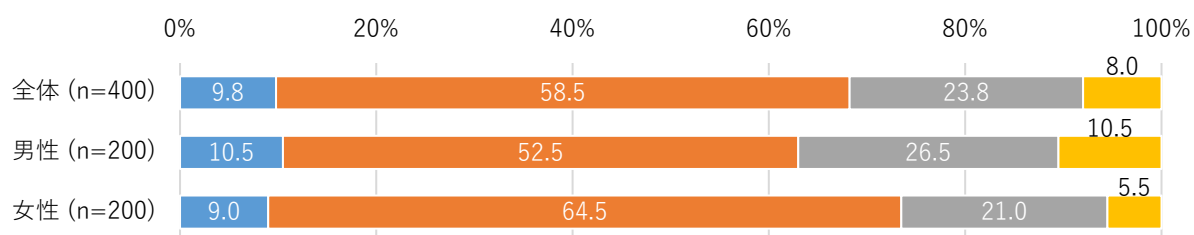
O やまなし性暴力被害者サポートセンター(かいさぼもこ)



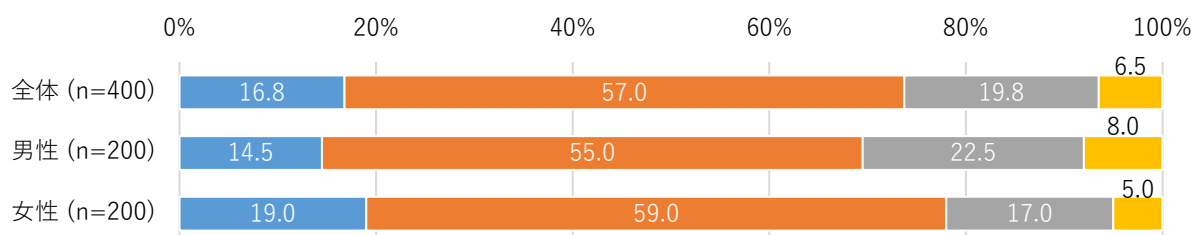
■ 知っている ■ 見た・聞いたことがある ■ 知らない

問14 男女共同参画社会を実現するために、山梨県が行う施策の重要度についてあなたはどうお考えですか。

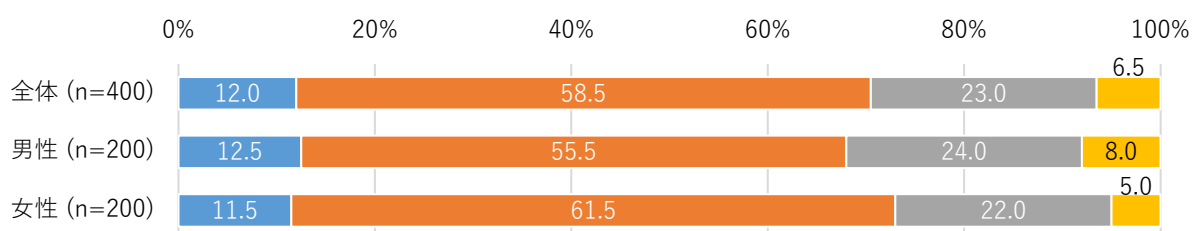
A 男女共同参画について学ぶ講座の充実



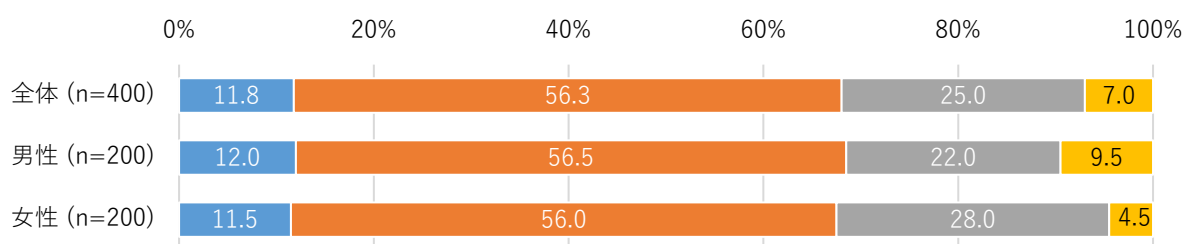
B 女性が再就職するための研修等の充実



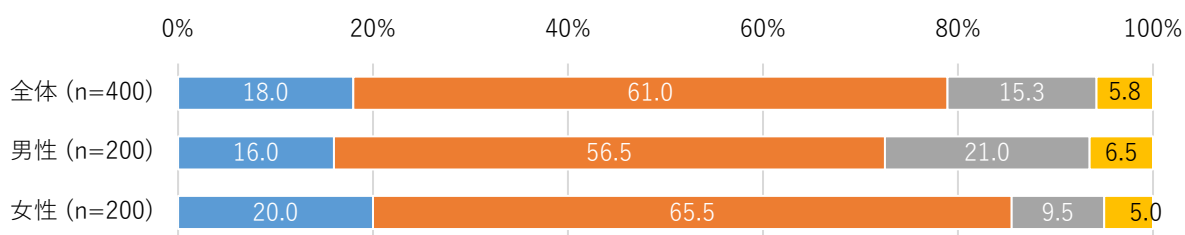
C 女性が社会活動をするための研修等の充実



D 女性の起業やコミュニティビジネス創出研修の充実

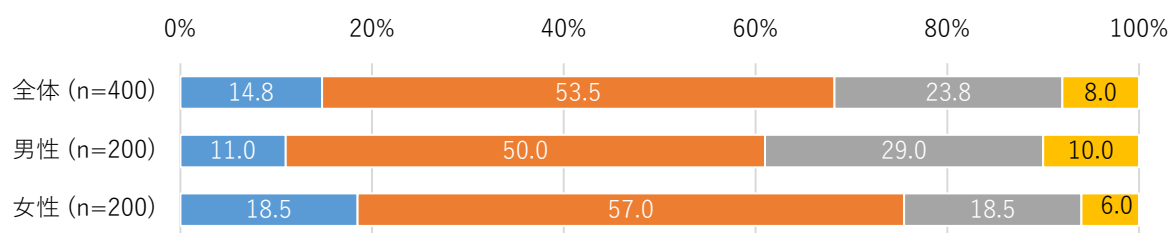


E 女性のための相談窓口の充実

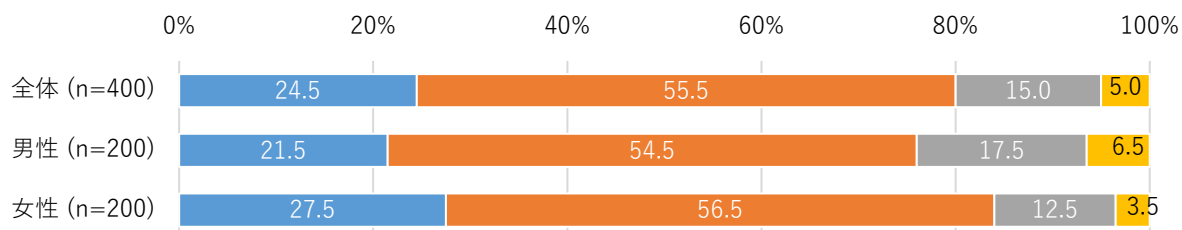


■ 大変重要である ■ 重要である ■ それほど重要ではない ■ 重要ではない

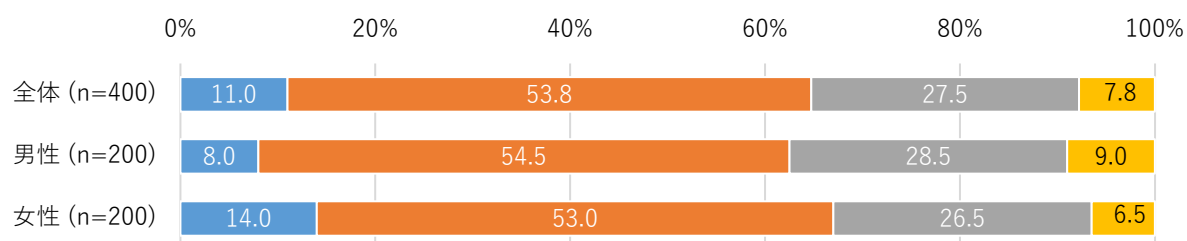
F 男性が家事や地域活動を行うための研修等の充実



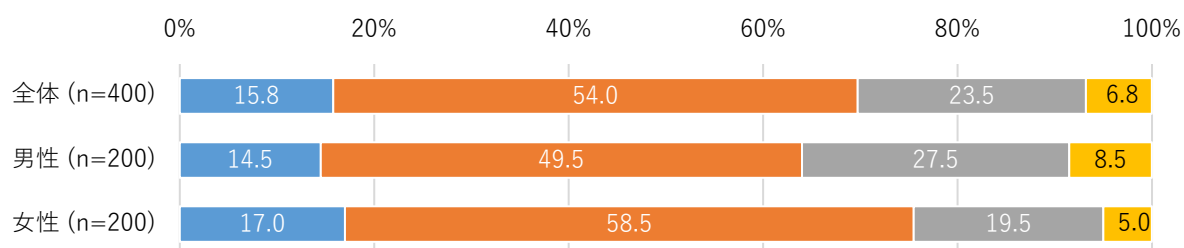
G 男女が互いを人として尊重する学校教育の充実



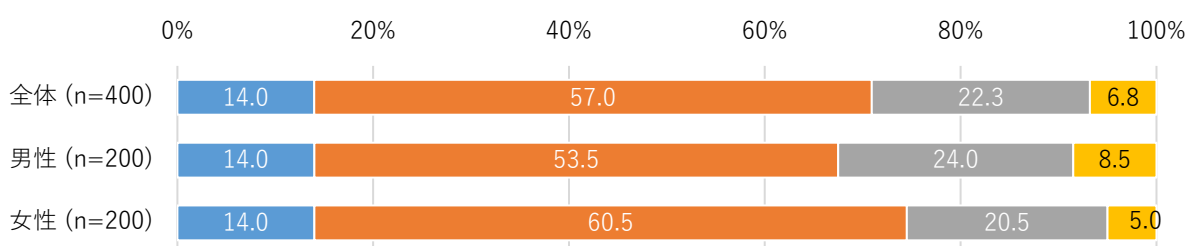
H 国際的な男女共同参画に関する情報の提供



I 企業トップの意識改革のための研修の充実

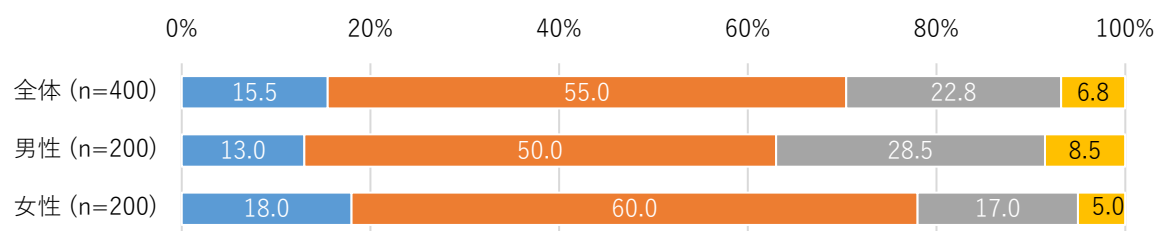


J 行政の各種委員会、審議会への女性の登用

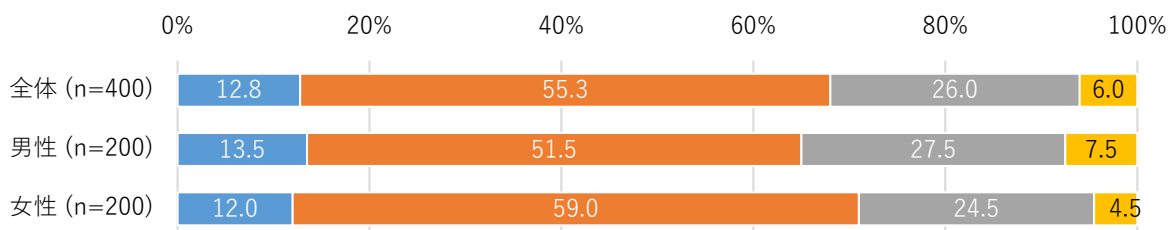


■ 大変重要である ■ 重要である ■ それほど重要ではない ■ 重要ではない

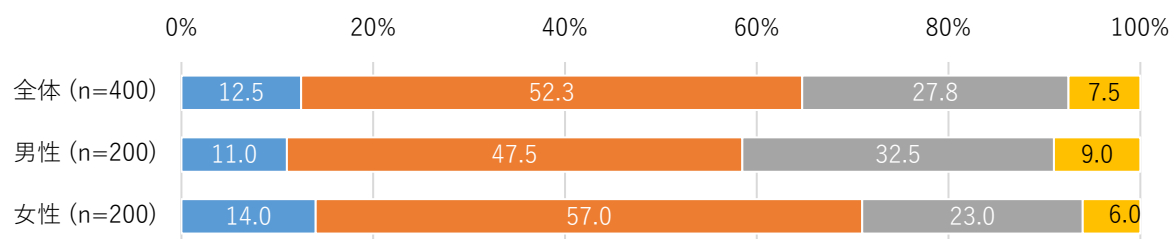
K 女性の活動を支援する団体と行政との協働



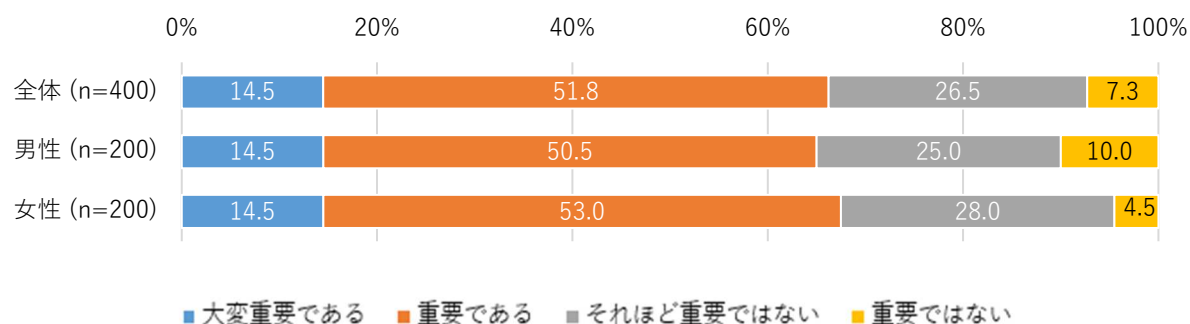
L 地域リーダーとなる女性を育成する研修の充実



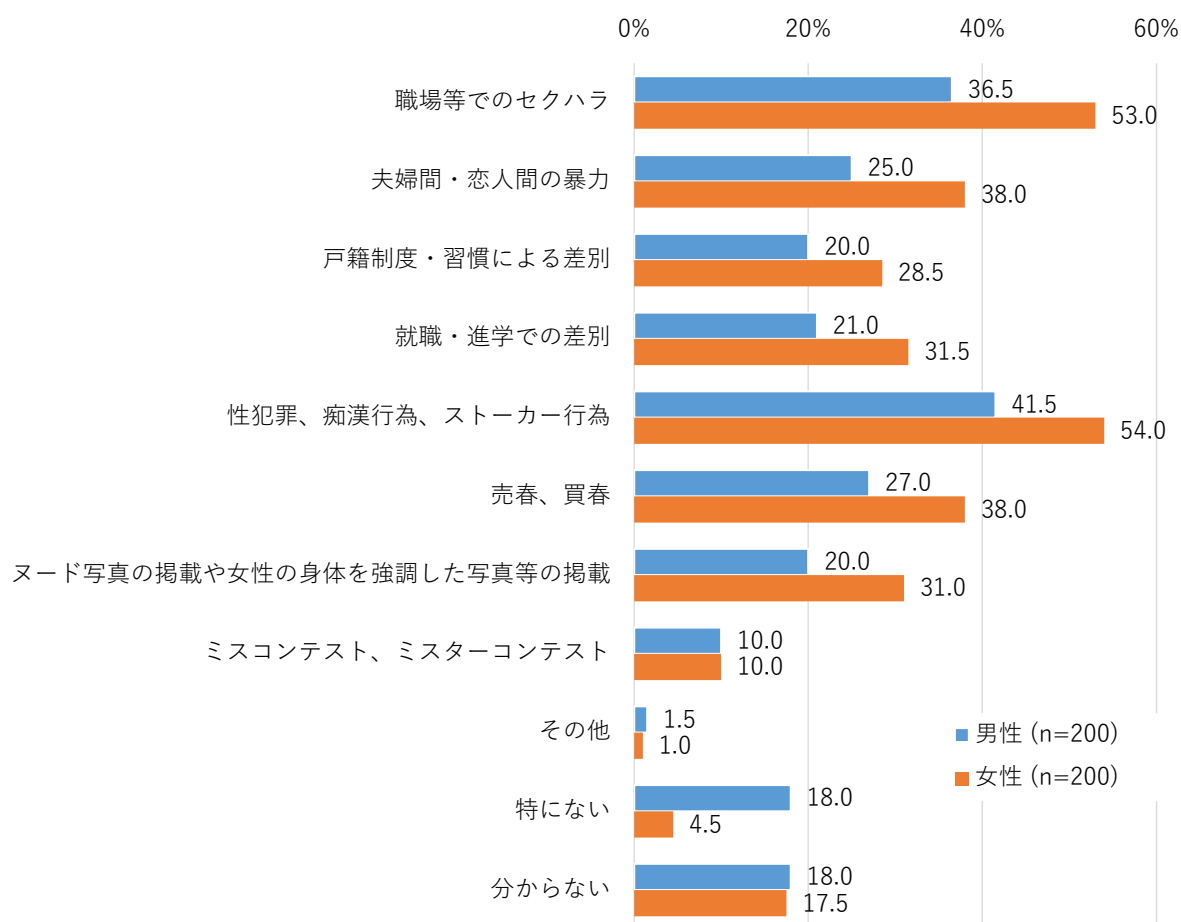
M 男女共同参画推進のための拠点施設の充実



N 自治会長などの地域リーダーの意識改革のための研修の充実

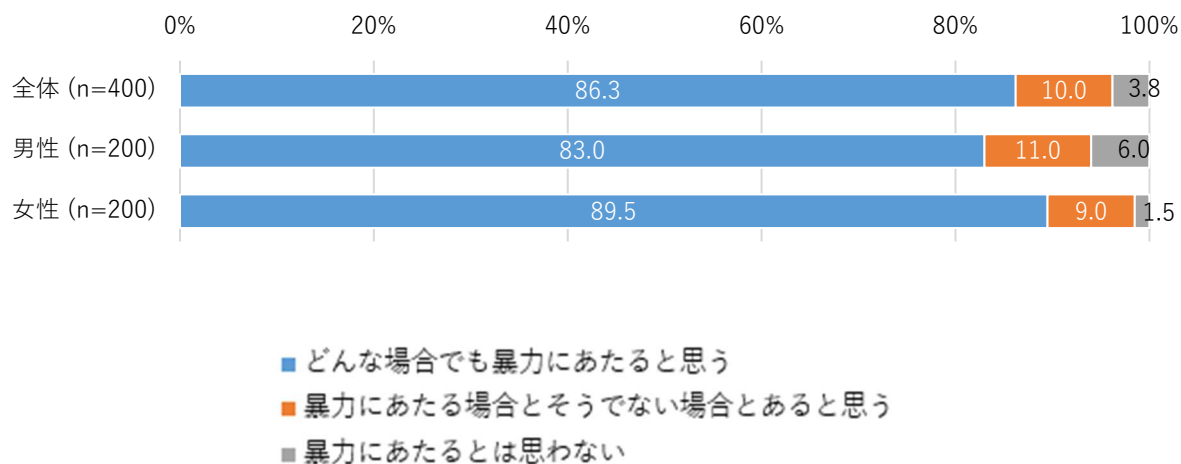


問15 あなたが、男女間において人権が尊重されていないと感じるのはどのようなことですか。(複数回答可)

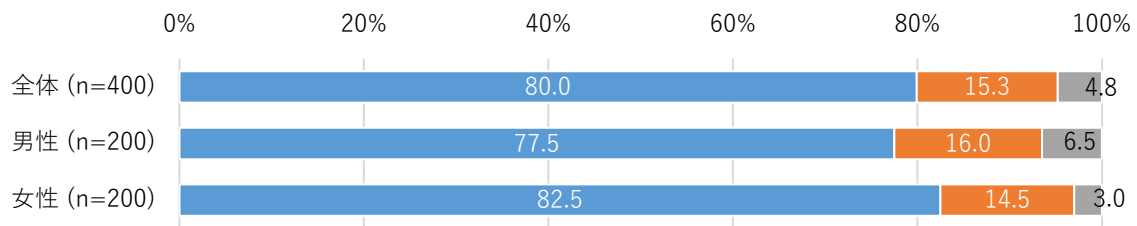


問16 あなたは、配偶者の間で次のようなことが行われた場合、それを暴力だと思いますか。

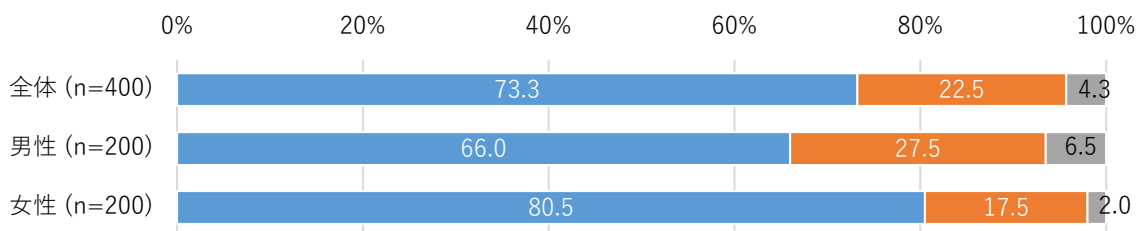
A 骨折、打ち身、切傷などのケガをさせる



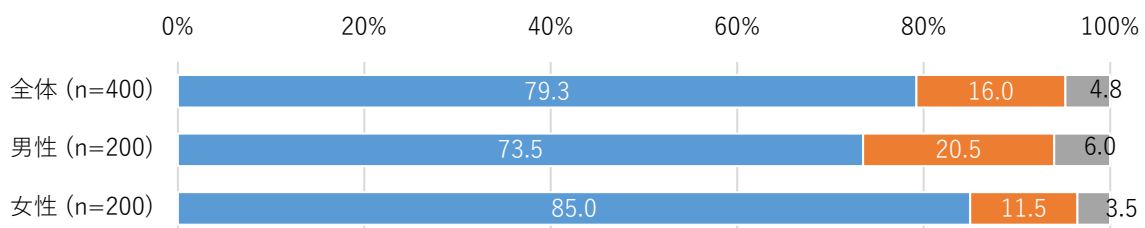
B ケガをしない程度になぐる、蹴る、平手で打つ



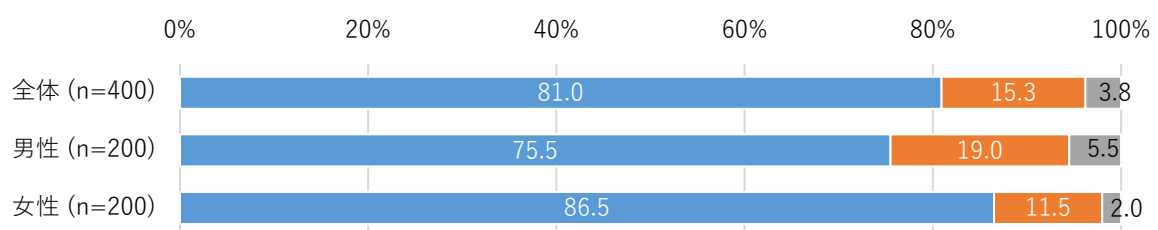
C なぐるふりをして、脅す



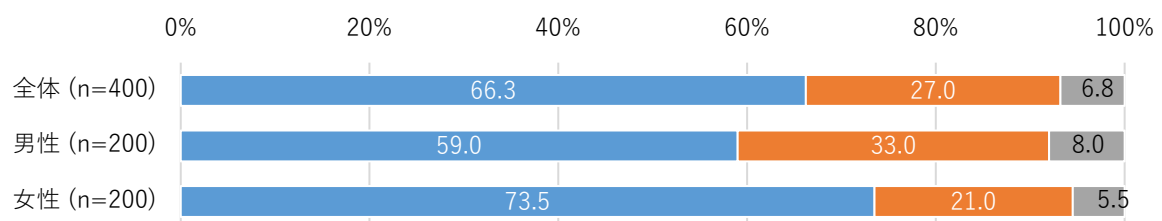
D ドアを蹴ったり、壁に物を投げつけたりして、脅す



E いやがっているのに性的な行為を強要する

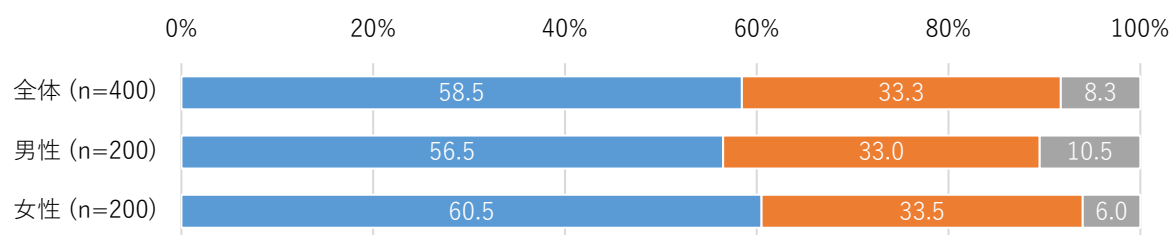


F 避妊に協力しない

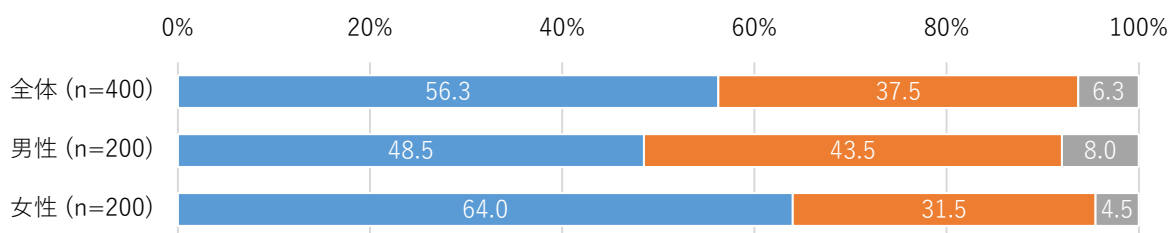


- どんな場合でも暴力にあたると思う
- 暴力にあたる場合とそうでない場合とあると思う
- 暴力にあたるとは思わない

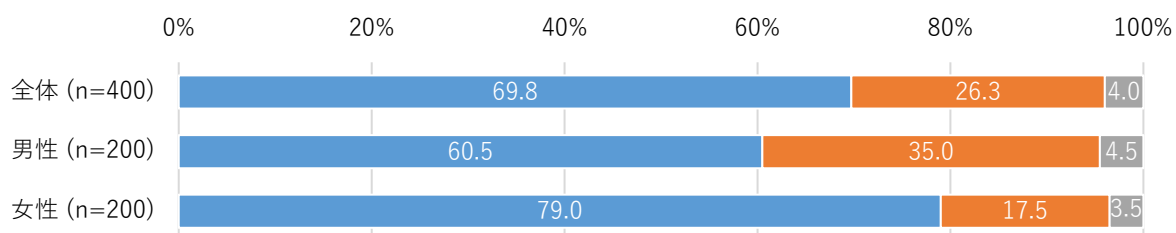
G 何を言っても長期間無視し続ける



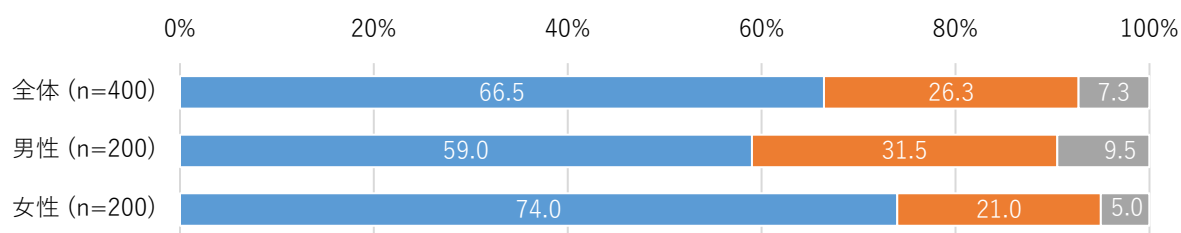
H 交友関係や電話・メール・SNS等を細かく監視する



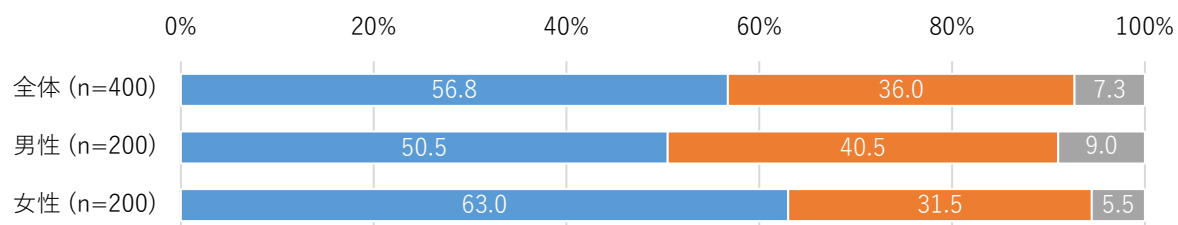
I 大声で怒鳴る、罵る



J 必要な生活費を渡さない



K 交友関係や実家との付き合いを遮断する

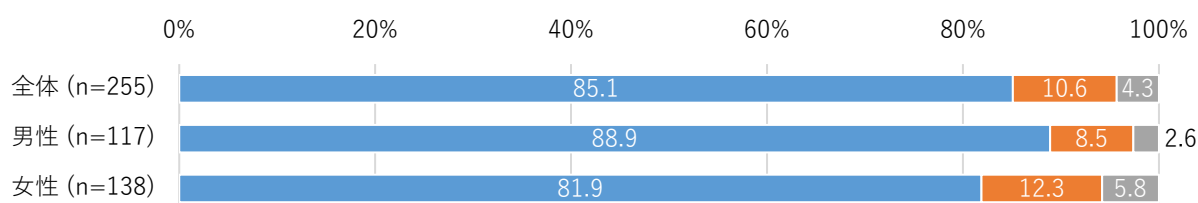


- どんな場合でも暴力にあたると思う
- 暴力にあたる場合とそうでない場合とあると思う
- 暴力にあたるとは思わない

【F5で「既婚(事実婚を含む)」、「離別」、「死別」と答えた方のみ】

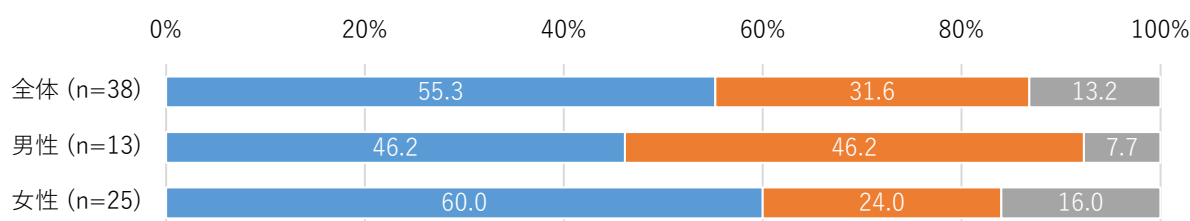
問17 あなたはこれまでにあなたの配偶者から次のような行為を受けたことがありますか。また、<これまで>に「1・2度あった」、「何度もあった」と答えた方は、それぞれの項目について、《この1年間》の状況もお答えください。

A <これまで> なぐったり、蹴ったり、物を投げつけたり、突き飛ばしたりするなどの身体に対する暴行を受けた

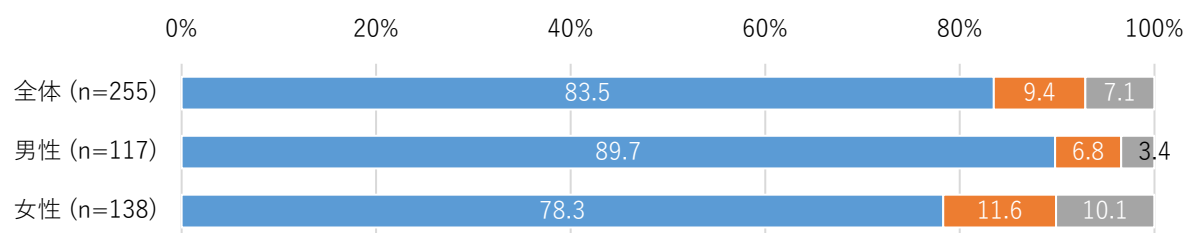


A【<これまで>に「1・2度あった」、「何度もあった」と答えた方のみ】

《この1年間》 なぐったり、蹴ったり、物を投げつけたり、突き飛ばしたりするなどの身体に対する暴行を受けた

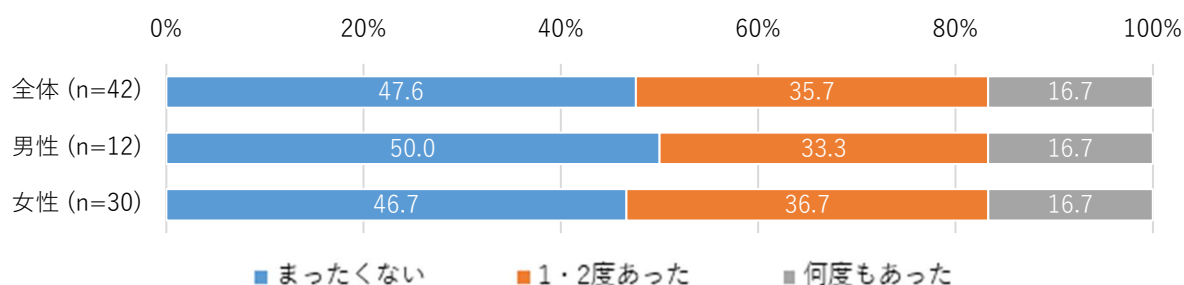


B <これまで> あなたもしくはあなたの家族に危害が加えられるのではないかと恐怖を感じるような言動や、人格を否定されるようなひどい暴言を受けた

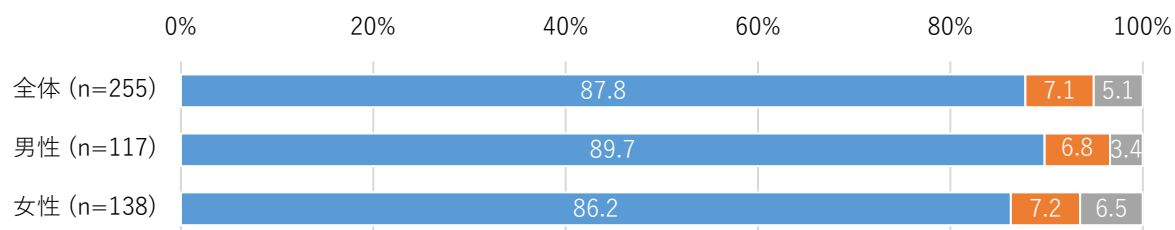


B【<これまで>に「1・2度あった」、「何度もあった」と答えた方のみ】

《この1年間》 あなたもしくはあなたの家族に危害が加えられるのではないかと恐怖を感じるような言動や、人格を否定されるようなひどい暴言を受けた

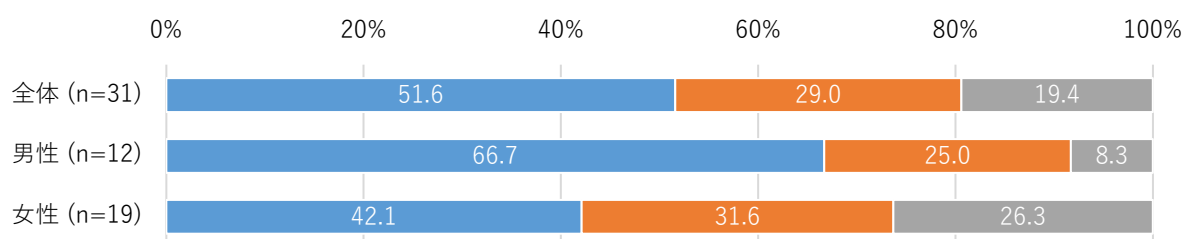


C <これまで> 生活費を渡されなかったり、給料や貯金を勝手に使われたり、外で働くことを妨害されたりした

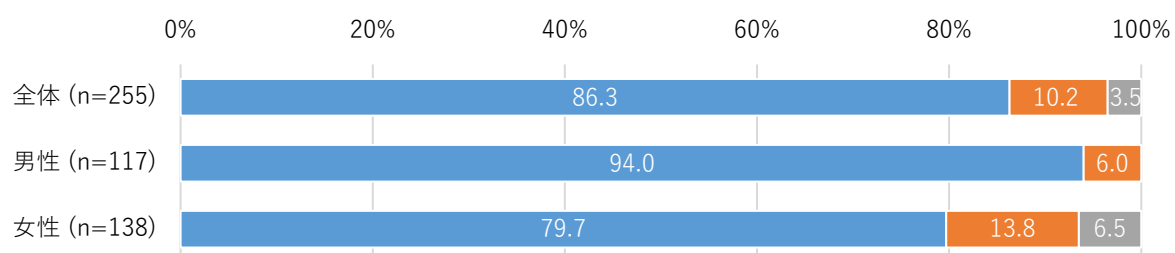


C 【<これまで>に「1・2度あった」、「何度もあった」と答えた方のみ】

《この1年間》 生活費を渡されなかったり、給料や貯金を勝手に使われたり、外で働くことを妨害されたりした

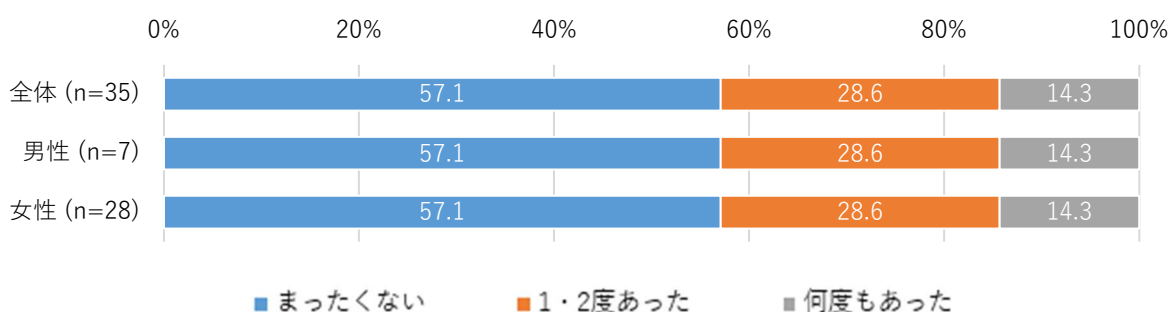


D <これまで> いやがっているのに性的な行為を強要された



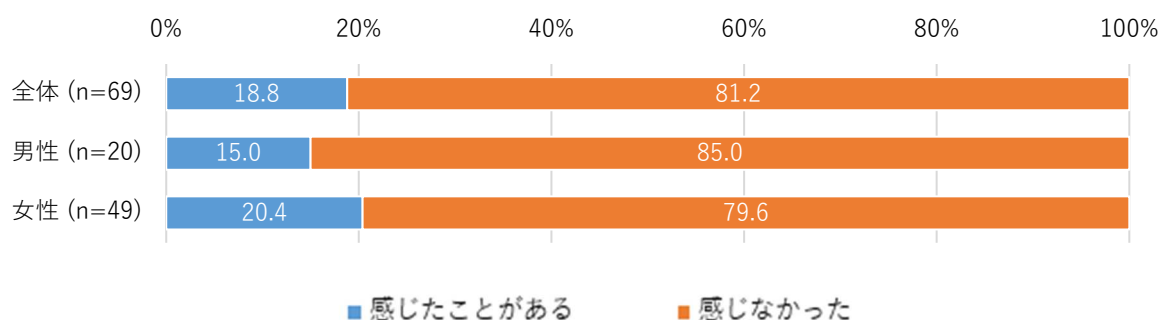
D 【<これまで>に「1・2度あった」、「何度もあった」と答えた方のみ】

《この1年間》 いやがっているのに性的な行為を強要された



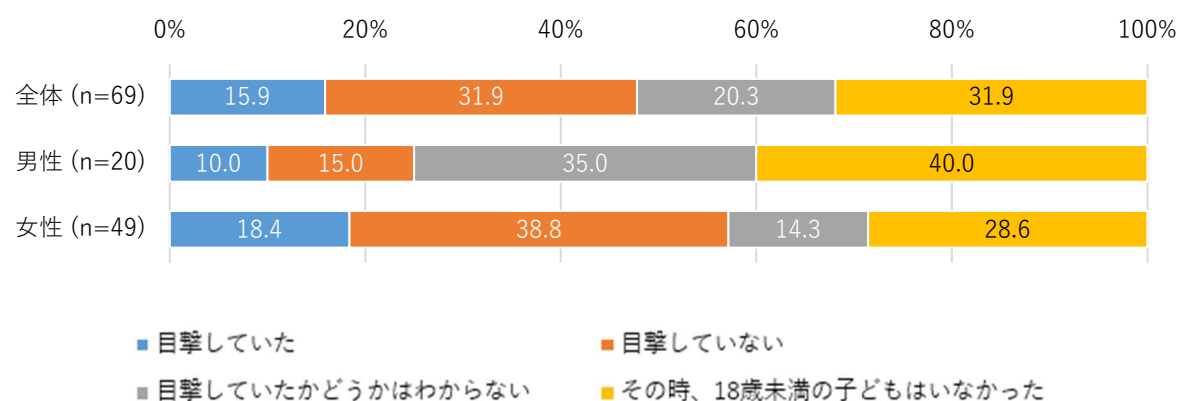
【問17で1つでも「1・2度あった」、「何度もあった」と答えた方のみ】

問17-1 あなたはこれまでに、配偶者からその行為を受けた時に、命の危険を感じたことがありますか。



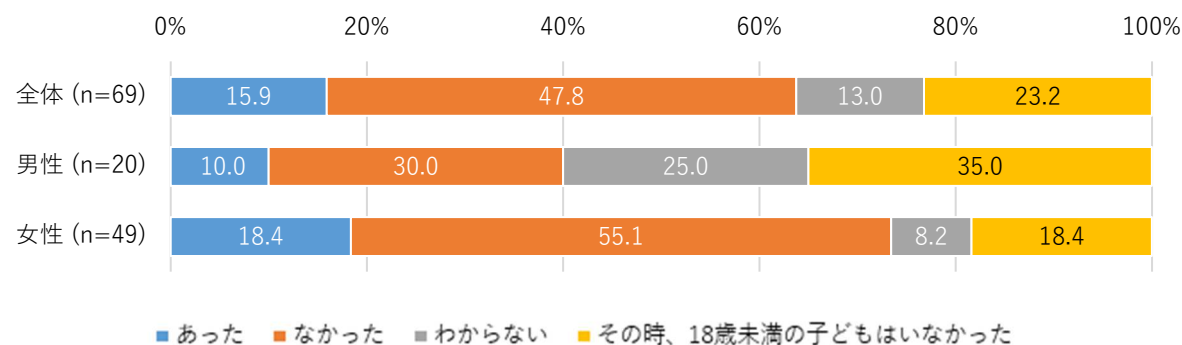
【問17で1つでも「1・2度あった」、「何度もあった」と答えた方のみ】

問17-2 あなたが、配偶者からその行為を受けた時に、あなたのお子さん(18歳未満)はそれを目撃していましたか。



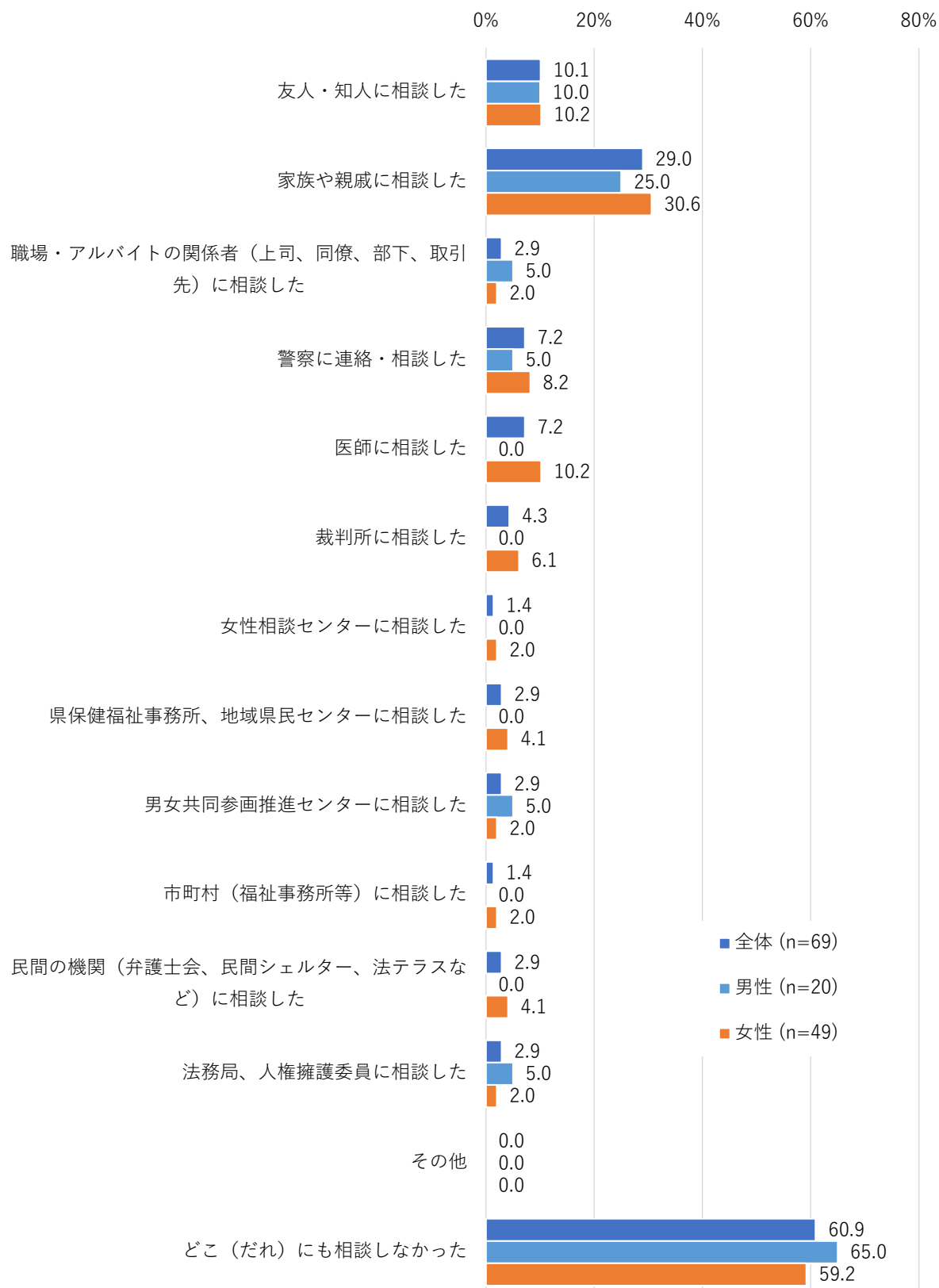
【問17で1つでも「1・2度あった」、「何度もあった」と答えた方のみ】

問17-3 その相手は、あなたのお子さん(18歳未満)に対して、同じような行為をしたことがありましたか。



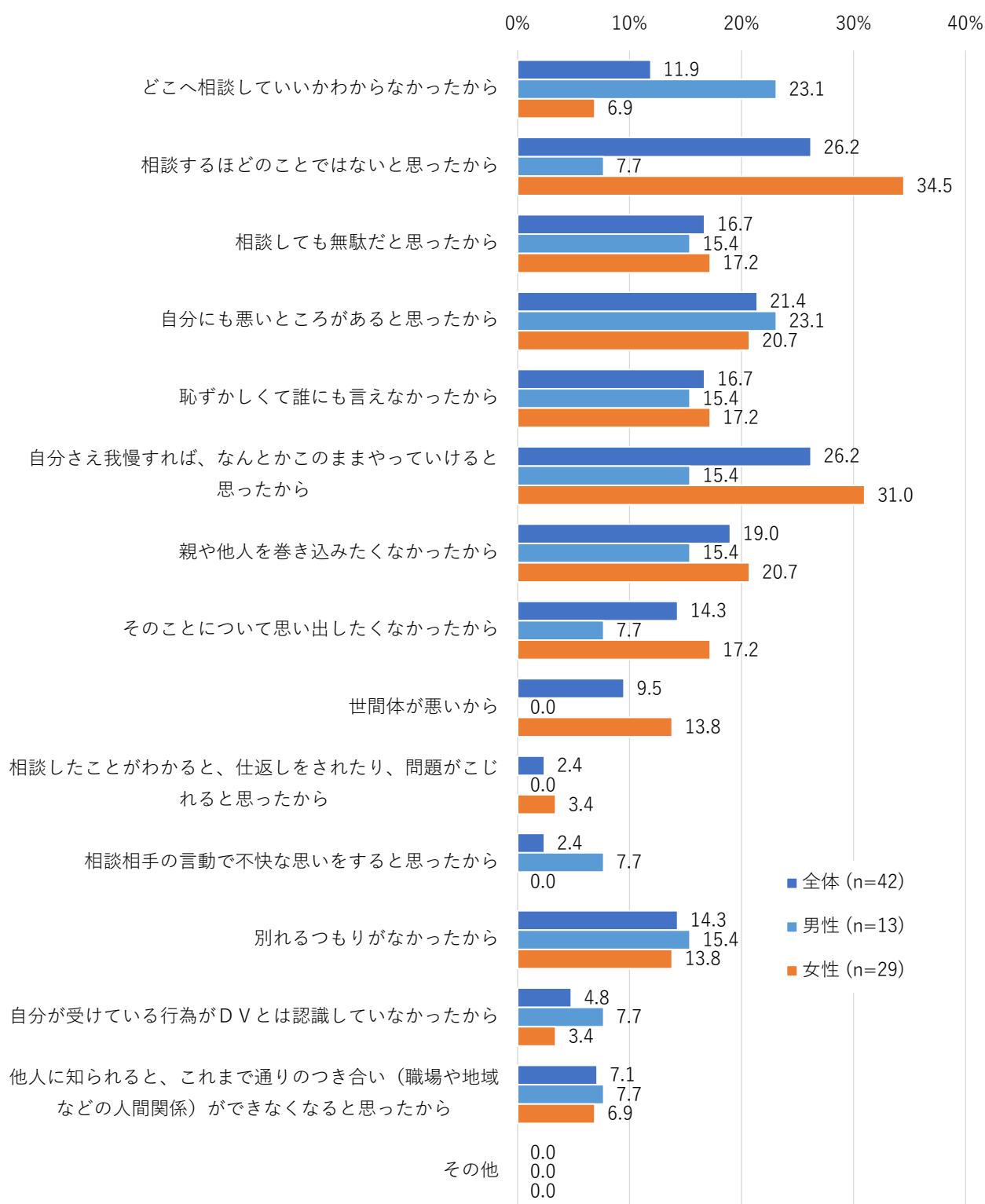
【問17で1つでも「1・2度あった」、「何度もあった」と答えた方のみ】

問17-4 あなたはこれまでに、あなたの配偶者から受けた行為について、誰かに打ち明けたり、相談したりしましたか。(複数回答可)

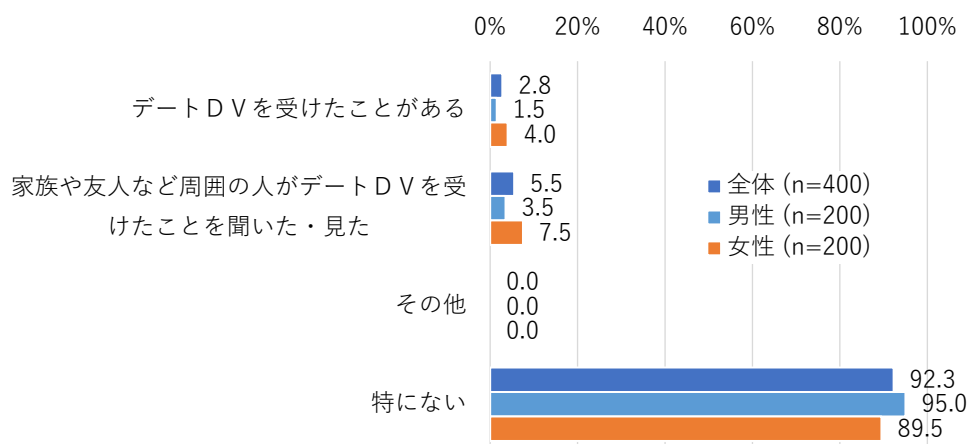


【問17-4で「どこ(だれ)にも相談しなかった」と答えた方のみ】

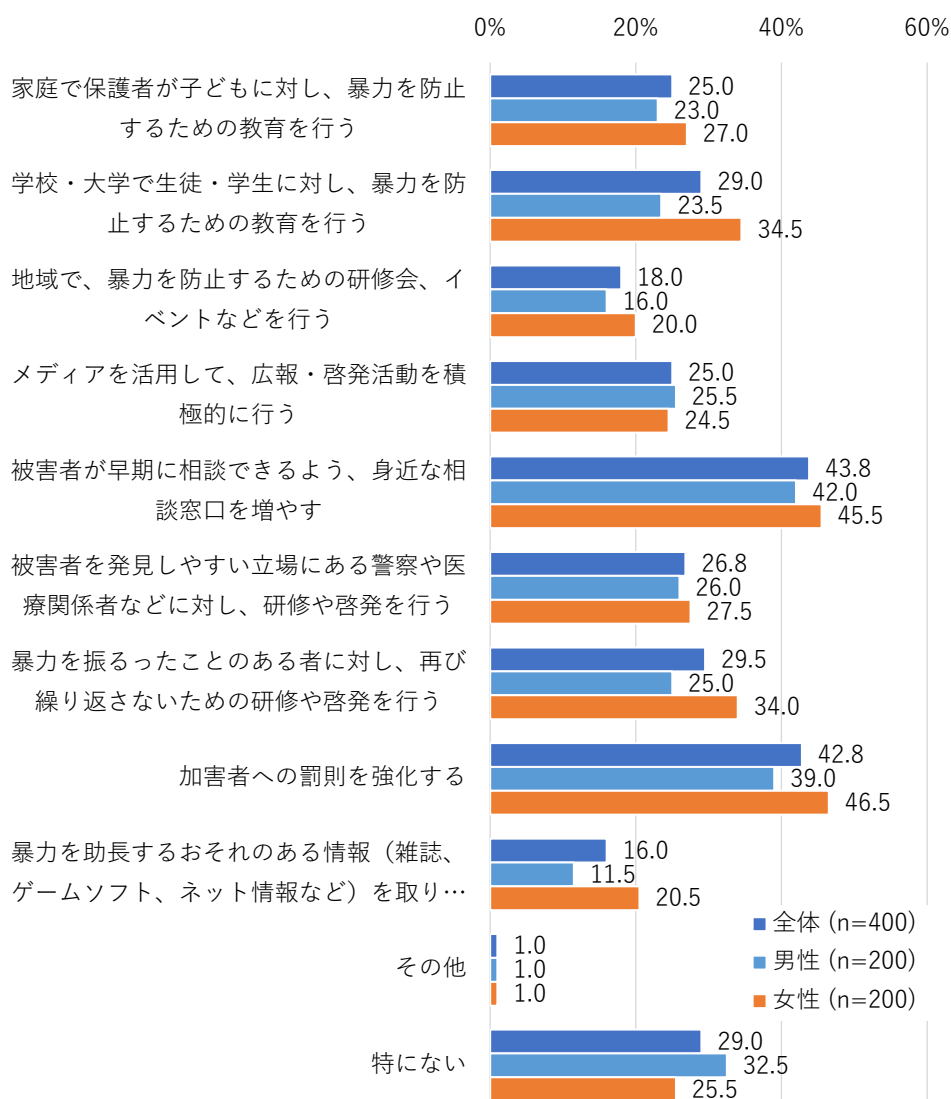
問17-5 どこ(だれ)にも相談しなかった理由は何ですか。(複数回答可)



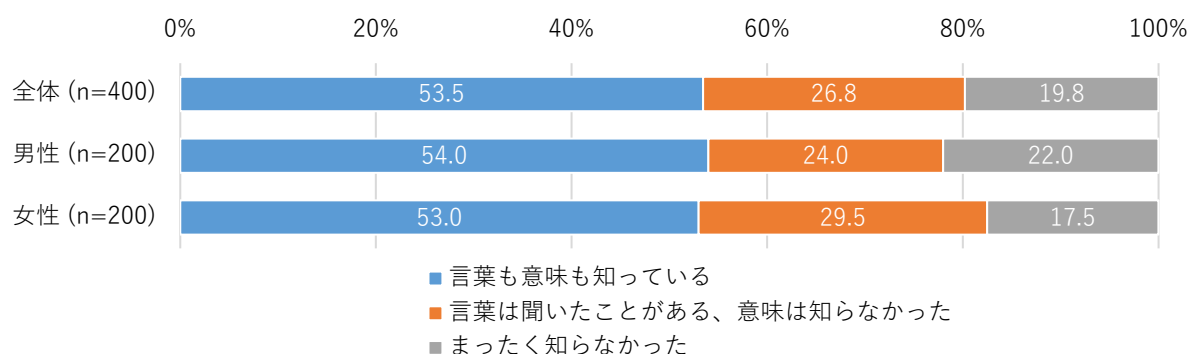
問18 あなたやあなたの周囲の人が実際にデートDVの被害を受けたり、被害を受けていることを聞いたり見た
りしたことがありますか。(複数回答可)



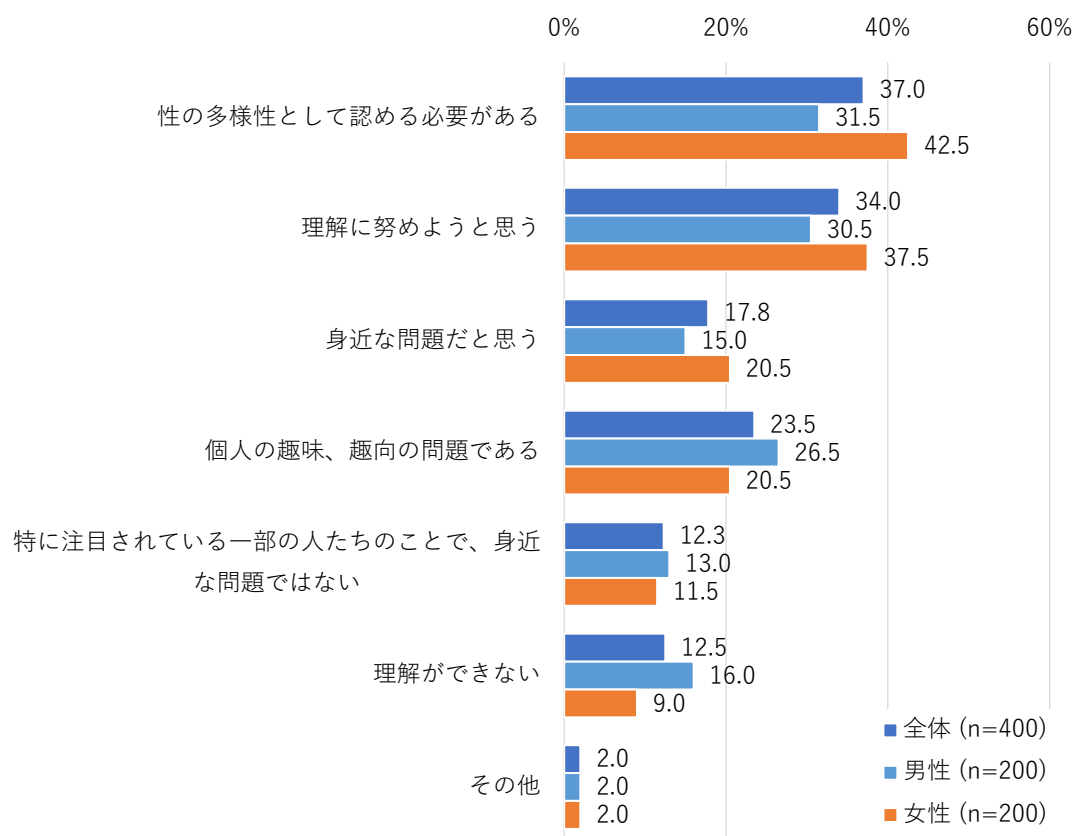
問19 配偶者や恋人からの暴力を防止するためには、どのようなことが必要だと考えますか。(複数回答可)



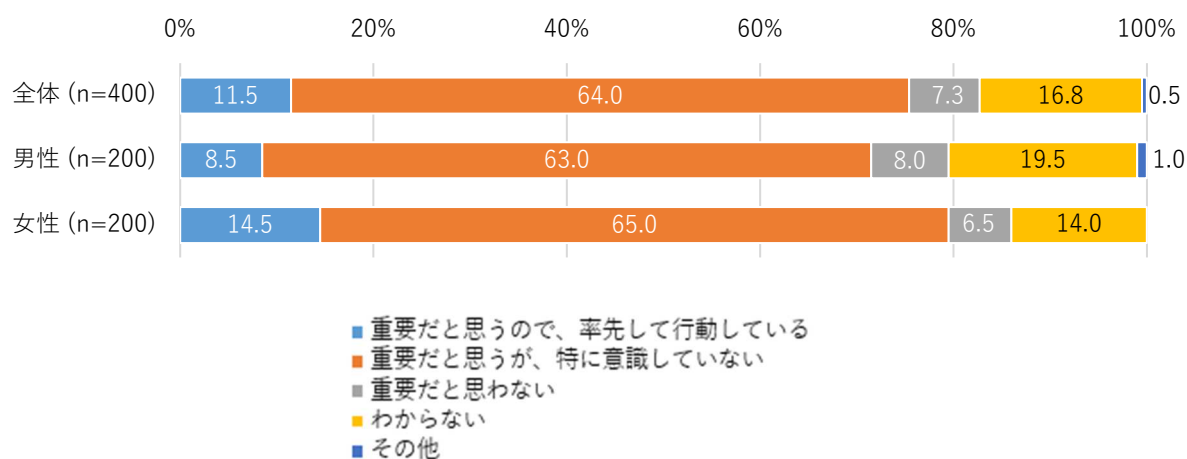
問20 「LGBT」または「性的少数者(性的マイノリティ)」という言葉について聞いたことがありますか。また、意味を知っていましたか。



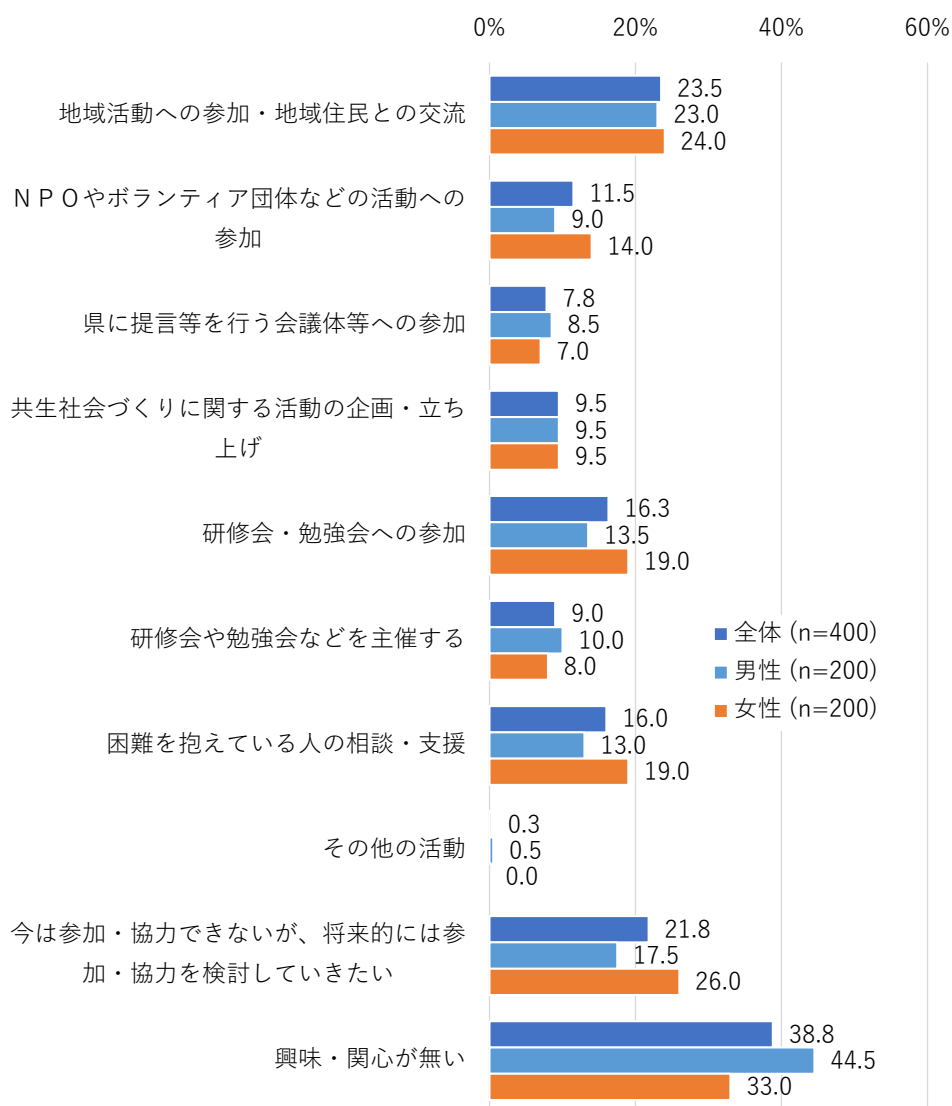
問21 LGBTについてどのような考えをお持ちですか。(3つまで回答可)



問22 あなたは、「多様性の理解」についてどのように考えていますか。



問23 「共生社会づくり」のために、あなたが取り組めると思うものについて、次の中から選んでください。(複数回答可)



問24 誰もが個性と能力を発揮して生き生きと暮らしていく社会の実現のために、あなたが日頃考えていらっしゃる事があれば、自由にお書きください。

- 男女平等や多様性を過剰に意識し過ぎるのではなく、自然に受け入れるようになればいいと思う
- 自分の事だけでなく、周囲に優しい気持ちを持って接することからだと思います
- 地域に密着したボランティア活動を通じて、常に社会とのつながりを持つこと
- 共生社会はすべての人が個人として尊重される社会で、人権についての深い理解が、すべての人に求められると思う。その機会として、学校教育はとても重要だと思う。人を教え導く役割の人間や、社会的に責任のある立場の人間には喫緊の課題として、人権について学ぶ努力をしてほしい。また、行政はその後押しをしてほしい。行政は、「誰もが個性と能力を発揮して生き生きと暮らしていく社会」を目指し続け、どんなかたちでも常に発信し続けてほしい
- 誰でも個人を尊重される社会になる
- 一人ひとりの個性を大切にすること
- 困っている人が、安心・信用して話せる場所を設ける
- 男女の差別には長い間の歴史があり、それを取り除くには個人では力が足りないと思う。国、特に国政の中で議員がどのくらい真剣に取り組んでいるかがわからない。
- それぞれの個性と認めて、批判したりせず、全ての人が自由に生活出来るようになったら良いと思う
- 小さい頃からの平等に関する教育が大切だと思う。社会全体が尊重する意識が必要であり、研修や啓発活動が大切だと思う
- 人の立場に立ってものを考えること。ステレオタイプしない。人の意見をよく聞く。常識にとらわれない。他人と比べない。自分の力で考えられる教育が大切
- 生き方は自由であり、それを妨げてはならない
- 固定概念の撤廃
- 個々人の能力を活かすことが重要だと思う。そのための場をいかにして提供できるかが問われていると思う
- LGBTという言葉がなくなるくらいに当たり前
- お互いの考えや価値観を大切にすること
- 周りの目を気にせず、自分らしく生きていける雰囲気が必要
- 誰かと比べず自分にとって何が幸せかを大切にしたい
- いろんな制度について、もっと周知を行った方がいいことと、柔軟に対応できるような体制を整えるべきだと思う
- 身近なところで、ボランティアをしたいと思うが、なかなか、情報が得られず、実行できていない。
- 自分の長所を伸ばしてそれを活かせる場所を見つけ、それを多くの人間が実現できれば個人も組織もメリットとなるな、と考えています
- 地域によるが閉鎖的であると感じているので、個性や能力を発揮できる場をもっと多く作るようにする
- 昔の価値観を押し付けない環境